

令和 6年度 施策評価表

施策名	310100	スマートシティ “エコポリス板橋”の推進											
SDGs (関連性のあるGOAL)	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう		
基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち												
基本政策	Ⅲ－1 緑と環境共生												
所管部長	資源環境部長						所管課長	環境政策課長					
関連所管	資源循環推進課												

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 都市の脱炭素化を図る「スマートシティ」の概念を取り入れたまちづくりを推進し、人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」の実現をめざす</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 【主体】 区民・事業者等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する関心を持ちエコライフスタイルを実践して環境保全活動に積極的に参加する ・温室効果ガス削減に向けて率先的に行動する ・ごみの減量に努め、リデュース・リユース・リサイクルを実践する ・商品包装の簡素化や資源回収に努める <p>【主な取り組み】 「板橋区環境基本計画2025」が掲げる基本目標を具現化する計画である「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」、「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」、「板橋区環境教育推進プラン2025」の推進、スマートシティ推進事業の実施</p>	<p>家庭や事業者において、省エネ行動（電気及びガス利用の削減）をはじめ、再生可能エネルギーの活用や、太陽光発電設備等の住宅・建築物の省エネ対策などが進み、環境に配慮したライフスタイル等が定着している。</p> <p>またごみの減量に対する活発な取り組みが行われ、プラスチックの資源化をはじめとしたリサイクルが普及し、温室効果ガスの削減に貢献している。</p> <p>生物や水・緑の健全な生態系が保全され、CO2吸収により脱炭素が進められ、区民等は、自然の恵みや良好な大気・水質を享受し生活を送っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 環境基本計画の進捗状況	%	18.7	33.3	20.0	—	100.0
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	②	達成率(%)					
		達成率(%)					
	③	達成率(%)					
達成率(%)							
④	達成率(%)						
	達成率(%)						
⑤	達成率(%)						
	達成率(%)						

特記事項

各年度の実績については、計画の進捗把握のために設けた成果指標の「順調」の数を指標全体の数で割った数値である。なお計画は2016年から2025年までの10年間の計画期間であるため、原則各成果指標の目標値に対して1年で10%ずつ数値を改善の方向に押し上げたものを「順調」とし2年目は20%、3年目は30%…10年目には100%の改善が見られるものを「順調」と評価する。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	31,830	35,782	61,917	41,468	95,689
事業費	千円	1,367	5,312	31,052	10,603	56,482
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	177	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	66	66	44	44
一般財源	千円	1,124	5,246	31,008	10,559	56,482
人件費合計	千円	30,463	30,470	30,865	30,865	39,207
経費	千円	0	0	0	0	0

フルコストの増減理由

令和5年度はスマートシティの事業である「板橋区宅配ボックス導入助成事業」申請件数が令和4年度より増加したため、フルコストが増加した。

施策名	310100	スマートシティ “エコポリス板橋”の推進
------------	--------	----------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容		
評価課題／改善の方向性	-	
-		
前回の評価結果への対応状況		
対応状況	-	
-		

【一次評価】所管部長による評価

【成果の分析】 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価	停滞	
計画で掲げている成果指標のうち、複数の指標が目標値に達している状況に留まっている。		
【成果の分析】 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因		
エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数をはじめとして環境教育分野の進捗が十分に図れなかったことが要因と考えている。今後は、ボランティアの活動機会の拡大をはじめとした環境教育に関する活動の拡大を図り、板橋区の環境を支える人づくりに取り組んでいく。		
【アウトカムの分析】 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か		
評価	妥当	
本計画における取組を推進していくことで、「人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」の実現」の貢献に大きく寄与する。		
【環境変化の分析】 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）		
評価	一部対応済	
地球温暖化による気温上昇等が進んでおり、ゼロカーボンの実現をはじめとした地球温暖化対策の一層の推進が必要である。いたばし環境アクションポイント事業による区民等の省エネ行動やプラスチックスマートを推進し、区・区民・事業者が協働して、ゼロカーボン・脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいる。		
【今後の展開方針】 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか		
ゼロカーボン・脱炭素社会の実現をめざし、区民等の省エネ行動やプラスチックスマートを推進するほか、緑や水、生物多様性の保全・再生や、大気汚染や騒音等対策の取組みを進め、また、区・区民・事業者がそれぞれの立場から、環境に関して「知る・学ぶ・行動する」活動のすそ野を広め、広く環境活動に取り組む人材の育成を図り、人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」を実現していく。 なお、現計画が令和7年度までの計画となっており、次期環境基本計画計画として、各個別計画を統合した計画を令和7年度中に策定予定である。		

【二次評価】区の最終評価

評価課題／改善の方向性	《停滞／目標値・指標の見直し》
次期環境基本計画の策定にあたっては、スマートシティやエコポリス板橋、SDGsの理念や考え方を改めて整理し、区への環境への取組方針を明確にし、多様化・複雑化する環境問題への対応、社会動向を把握した効果的な施策を検討すること。また、次期基本計画にもとづく施策・事務事業の実施により現れる成果について、指標及び適切な数値目標を設定すること。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310100 - 001 環境基本計画推進経費				
担当所属	環境政策課	担当者	-	連絡先	3579-2591
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310100	スマートシティ“エコポリス板橋”の推進			
根拠法令要綱	東京都板橋区資源環境審議会条例・東京都板橋区資源環境審議会条例施行規則				
計画事業番号		事業期間	平成 7年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 ①板橋区資源環境審議会 ②環境白書 ③ICLEI (イクレイ)</p> <p>【手段】 ①板橋区資源環境審議会における審議 ②環境白書による情報発信 ③ICLEI (イクレイ) との連携</p> <p>【意図】 ①学識者をはじめ幅広い関係者による議論をとおして実りある計画を策定し運用する。②環境基本計画に定める取組み等を発信し、区民等の理解を深める。③環境に関する世界の動向をキャッチアップする。</p> <p>【成果】 ①環境関連施策の推進により、スマートシティ“エコポリス板橋”が実現する。②区民及び事業者の環境に関する理解が醸成される。③変化が激しい環境に関する世界の動向を的確に把握し、区の施策につなげることが出来る。</p>	<p>【現状の周辺環境】 2024年4月現在、ICLEI(イクレイ)参加自治体(東京都内)…東京都、墨田区、葛飾区、武蔵野市</p> <p>【備考】 資源環境審議会 設置年月 平成9年11月 構成メンバー 学識経験者4名、団体代表8名、区民代表1名、議会選出5名、行政機関1名、区職員1名 計20名</p> <p>イクレイ (ICLEI) 「イクレイ (ICLEI) -持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会-」は、持続可能な社会の実現を目指す2,500以上の都市や地域で構成された国際ネットワークであり、区は平成7年度より加盟している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 成果指標	環境基本計画の進捗状況	%	18.7	33.3	—	20.0	—	—	100.0
			達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
②		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							

特記事項

各年度の実績については、計画の進捗把握のために設けた成果指標の「順調」の数を指標全体の数で割った数値である。なお計画は2016年から2025年までの10年間の計画期間であるため、原則各成果指標の目標値に対して1年で10%ずつ数値を改善の方向に押し上げたものを「順調」とし2年目は20%、3年目は30%…10年目には100%の改善が見られるものを「順調」と評価する。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	13,289	12,944	13,545	13,282	67,277
事業費	千円	939	591	1,032	769	46,422
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	939	591	1,032	769
人件費	千円	12,350	12,353	12,513	12,513	20,855
正職員	千円	12,350	12,353	12,513	12,513	20,855
人員	人	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和5年度は令和4年度と比べ、資源環境審議会の開催回数が増加したことによりフルコストが増加した。

事務事業名	310100 - 001 環境基本計画推進経費
-------	-------------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
<p>事業コストについては必要なものを適切に精査できている。また環境教育については対面など人同士が接することが多く、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けるためまだ十分に実績が回復していないものも見られたが、令和3年度の実績よりは回復しているものが多かった。今後は令和7年度に期間満了となる板橋区環境基本計画2025の次期計画を策定する中で、新型コロナウイルス感染症が与えた取組への影響等を分析し、感染症が拡大する中でも環境の取組を可能な限り継続できるよう新たな計画の策定に繋げていく。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	一部対応済

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	C
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	70%未満がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数をはじめとして環境教育分野の進捗が十分に図れなかったことが要因と考えている。今後は、ボランティアの活動機会の拡大をはじめとした環境教育に関する活動の拡大を図り、板橋区の環境を支える人づくりに取組んでいく。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
<p>本事業を推進していくことで、中間アウトカム「環境分野におけるSDGsの認知度理解度醸成」に大きく寄与する。SDGsは国連が定めた持続可能な開発を行うための国際的な目標であり、区が推し進めている環境行政の方向性と一致している。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況	予算編成及び予算管理を通して、常に必要な経費の精査を行っており、必要最小限の経費に抑えている。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	次期環境基本計画を策定していく中で、区の環境に関する現状把握・現状分析・課題抽出を行うとともに、環境に関する社会の動向を把握し、効果的な施策を検討していく。		

【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
<p>事業コストについては、必要なコストを適切に精査できている。今後は、令和7年度に期間満了となる次期環境基本計画を策定する中で、区の環境に関する現状把握・現状分析・課題抽出をきめ細かく行うとともに、区民等の意見を幅広く聴く機会を設け、区民・事業者・区による協働した取組を一層推進できるよう、策定にあたっていく。</p>	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310100 - 002 環境基本計画推進経費 (一般廃棄物処理基本計画)				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310100	スマートシティ“エコポリス板橋”の推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区資源環境審議会条例」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 清掃事業を推進するうえでの、課題等</p> <p>【手段】 資源環境審議会清掃・リサイクル部会等で審議</p> <p>【意図】 区内の一般廃棄物の処理に関する計画の策定及び見直し</p> <p>【成果】 一般廃棄物処理基本計画の策定や見直し</p>	<p>【区民意識意向調査】 環境のために取り組んでいることは何かという項目では78.2%がごみの分別を心がけていると回答。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	リサイクル率(新計算方式)	%	22.5	22.0	26.7	21.8	81.6	27.3	令和 7年度
			達成率(%)	80.4	78.6	95.4	77.9		
② 成果指標	区民1人あたりごみ排出量(ごみ量+資源量)	g	645.0	622.0	616.2	598.0	97.0	607.1	令和 7年度
			達成率(%)	107.9	104.0	103.0	100.0		
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

※指標①②の令和5年度実績については、持込ごみ量及び不燃ごみ・粗大ごみからの再資源化量の実績が令和6年9月に確定。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	2,003	1,647	1,808	1,668	1,808
事業費	千円	356	0	140	0	140
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	177	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	179	0	140	0	140
人件費	千円	1,647	1,647	1,668	1,668	1,668
正職員	千円	1,647	1,647	1,668	1,668	1,668
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310100 - 003 スマートシティ推進事業経費				
担当所属	環境政策課	担当者	-	連絡先	3579-2591
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310100	スマートシティ“エコポリス板橋”の推進			
根拠法令要綱	板橋区スマートシティ推進協議会設置要綱				
計画事業番号		事業期間	平成28年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 産・学・民・官など多様な主体</p> <p>【手段】 スマートシティ推進協議会の運営及び庁内課題募集</p> <p>【意図】 既存施策や資源を効率化・最適化（スマート化）し、既存市街地における地域価値の向上と都市の再生を達成する「板橋区らしいスマートシティ」を構築し、東京で一番住みたくなるまちの実現、区民の幸福向上を目指す。</p> <p>【成果】 実証実験の実施</p>	<p>【開始時の周辺環境】 「板橋区らしいスマートシティ」をスピード感を持って実現するため、民間活力を活用し、オープンイノベーションの考え方に基づいてプロジェクトを創出する必要がある。</p> <p>【現状の周辺環境】 ICTの技術革新、官民連携プラットフォームの設立などスマートシティに関する動きが活性化し、国内外含めて多くのスマートシティが実現した。国ではスーパーシティ構想が立ち上がり、未来都市実現に向けて動き出している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 活動指標	スマートシティ推進協議会の開催	回	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	実証実験の件数	件	3.0	3.0	1.0	3.0	300.0	1.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
③		達成率(%)						
④		達成率(%)						
⑤		達成率(%)						

特記事項

指標①については、令和3年12月より協議会の活動を休止している。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	16,538	21,191	46,564	26,518	26,604
事業費	千円	72	4,721	29,880	9,834	9,920
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	66	66	44	44	0
一般財源	千円	6	4,655	29,836	9,790	9,920
人件費	千円	16,466	16,470	16,684	16,684	16,684
正職員	千円	16,466	16,470	16,684	16,684	16,684
人員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和5年度は「板橋区宅配ボックス導入助成事業」申請件数が増加したためフルコストが増加した。

令和 6年度 施策評価表

施策名	310200 脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進									
SDGs (関連性のある GOAL)										
基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち									
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生									
所管部長	資源環境部長			所管課長	環境政策課長					
関連所管										

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 区民、事業者、区の各主体が省エネルギー化や再生可能エネルギー等の導入などに取り組み、エネルギー消費量及び温室効果ガス排出量の削減を図る。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 [主体] 区民・事業者等 ・環境に対して関心を持ち、エコライフスタイルの実践や環境活動に積極的参加をする。 ・温室効果ガス削減に向けて率先的に行動する。 ・緑のカーテンなど身近で取り組める地球温暖化対策に努める。</p> <p>【主な取り組み】 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進、いたばし環境アクションポイント事業の推進など</p>	<p>広く家庭や事業者において、省エネ行動（電気及びガス利用の削減）をはじめ、再生可能エネルギーの活用や、太陽光発電設備等の住宅・建築物の省エネ対策などが進み、環境に配慮したライフスタイルやビジネススタイルが定着している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 区内温室効果ガス排出量（CO2換算）	万t-CO2	195.5	0.0	0.0	∞	162.3
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② いたばし環境アクションポイント事業CO2排出削減量	t-CO2	109.0	241.0	362.0	492.0	622.0
		達成率(%)	17.5	38.7	58.2	79.1	令和 7年度
	③ 板橋エコアクション（IEA）参加事業者数	者	182.0	185.0	185.0	∞	∞
達成率(%)		—	—	—	—	—	
④							
⑤							
特記事項							
温室効果ガス排出量を算出しているオール東京62市区町村共同事業による数値の取りまとめに時間を要するため、①の令和4年度実績（数値）は令和7年5月頃、令和5年度実績（数値）は令和8年5月頃確定見込							

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	67,946	67,580	82,105	81,047	127,336
事業費	千円	26,780	26,410	40,395	35,166	81,455
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	6,391
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
一般財源	千円	25,780	25,410	39,395	27,775	72,920
人件費合計	千円	41,166	41,170	41,710	45,881	45,881
経費	千円	0	0	0	0	0
フルコストの増減理由						
「いたばし環境アクションポイント事業」拡充による消耗品費・委託費の増						

施策名	310200 脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進
------------	----------------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容	
評価用語/改善の方向性	-
-	
前回の評価結果への対応状況	
対応状況	-
-	

【一次評価】所管部長による評価

【成果の分析】 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移	
評価	概ね順調
区内の温室効果ガス排出量（指標①）は、令和3年度時点（直近実績確定時点）で、目標値を達成できるペースで進んでおり、脱炭素社会の実現に向けて前進しているものと捉えられる。	
【成果の分析】 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因	
-	
【アウトカムの分析】 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か	
評価	妥当
最終アウトカム（脱炭素社会の実現）に向けては、区民・事業者・区が一体となって温室効果ガスの削減に取り組む必要がある。各主体がそれぞれの立場からCO2排出量の削減を図る取組みを実践することにより、最終アウトカムの実現（脱炭素社会の実現）に寄与するものであるため、中間アウトカムとして妥当である。	
【環境変化の分析】 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）	
評価	一部対応済
脱炭素社会の実現に向けては、社会制度の変化や区民ニーズを捉え、区民及び事業者の継続した環境配慮に関する取組みが必要であるため、ナッジ（＝行動変容を促す手法）を活かし、区民及び事業者の行動変容を高める施策や取組みを強化していく。	
【今後の展開方針】 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか	
区民・事業者・区の脱炭素社会の実現に向けた取組みが進められている中で、成果の見える化をはじめ取組みの定着（継続）を図るとともに、社会情勢の動向を踏まえ、新たなニーズに対応しつつ、温室効果ガスを削減していく。	

【二次評価】区の最終評価

評価用語/改善の方向性	《概ね順調/工夫して継続》
脱炭素社会の実現に向けては、区民や事業者の主体的な取り組みが欠かせないため、各主体に応じたCO2削減の方策を検討し施策に反映していく必要がある。そのため、社会情勢や区民、事業者のニーズを的確に把握し、効果的な行動変容を高める施策に取り組むこと。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310200 - 001 板橋区環境マネジメントシステム推進				
担当所属	環境政策課	担当者	-	連絡先	3579-2591
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち			
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生			
施策	310200 脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	板橋区環境マネジメントシステム文書、エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（東京都環境確保条例）等			
計画事業番号	事業期間	平成 9年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 環境に係る区政運営全領域</p> <p>【手段】 「板橋区環境マネジメントシステム」を運用。この他、内部環境監査、省エネ法等に基づく各種エネルギーデータ等の集計、報告業務等を実施、区施設の廃棄物の処理、古紙等の資源化を当課において一括で処理業者と契約し一元的に管理</p> <p>【意図】 環境目標を設定し、取り組むことで環境意識の向上へ繋げる。また、区内部組織や区内事業所への環境活動のアドバイス等へ繋げる。</p> <p>【成果】 CO2排出量の削減や環境負荷軽減への取組を継続</p>	<p>【現状の周辺環境】 ISO 14001の認証取得により、環境マネジメントシステムの適切な運営と地域へのアドバイスやノウハウの提供を行うことができる。</p> <p>【他自治体との比較】 23区の取得状況⇒板橋区(計1区)</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	ISO 14001外部審査	回	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	0.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
② 成果指標	区の事業活動に伴って生じたエネルギーの消費量	GJ	628,636.0	648,796.0	553,130.0	0.0	0.0	553,130.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
③ 成果指標	区の事業活動に伴って生じた温室効果ガスの排出量	t-CO2	27,151.0	27,404.0	18,906.0	0.0	0.0	18,906.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
④									
		達成率(%)							
⑤									
		達成率(%)							

特記事項

①について、環境マネジメントシステムの再構築に伴い、令和6年度以降は、ISO14001外部審査を受審しない事となった。
 ②③について、まだ令和5年度実績は排出係数が発表されていないため、現時点では算出できない(令和6年8月頃発表予定)
 【単位説明】②の「GJ」は「ギガジュール(ギガは10の9乗)」で熱量や仕事量を表す際に用いる。③の「t-CO2」は「トジーオーツ」で二酸化炭素排出量を表す際に用いる。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	32,876	31,369	34,313	32,656	35,721
事業費	千円	20,526	19,016	21,800	20,143	23,208
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	20,526	19,016	21,800	20,143
人件費	千円	12,350	12,353	12,513	12,513	12,513
正職員	千円	12,350	12,353	12,513	12,513	12,513
人員	人	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度 事務事業)

事務事業名	310200 - 002 地球温暖化防止対策				
担当所属	環境政策課	担当者	-	連絡先	3579-2622
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310200	脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）、地球温暖化対策の推進に関する法律（地球温暖化対策推進法）				
計画事業番号	019	事業期間	~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民・事業者・区</p> <p>【手段】 ①いたばし環境アクションポイント事業：電気・ガスの使用量の削減量に対するポイント付与 ②ウォーターサーバー設置：マイボトルの活用機会の増加。 ③「食」による地産地消事業：プリンター等を配布し、自ら食品の地産地消を実践。</p> <p>【意図】 ①いたばし環境アクションポイント事業：CO2の削減につながる区民及び事業者の省エネ行動の推進 ②ウォーターサーバー設置：ペットボトルを使用しない行動変容。 ③「食」による地産地消事業：購買だけでなく自ら栽培し食する行動変容</p> <p>【成果】 ①いたばし環境アクションポイント事業：区内のCO2の排出量の削減 ②ウォーターサーバー設置：プラスチックの生産等で排出される温室効果ガスの削減 ③「食」による地産地消事業：ごみの減量及び輸送による温室効果ガスの削減</p>	<p>【現状の周辺環境】 ①いたばし環境アクションポイント事業 区内の温室効果ガスは、CO2が90%を占め、そのうち家庭と事業者からの排出量が約80%を占めている。 ②ウォーターサーバー設置 効果の確保を鑑み、利用者数の多い区施設に、令和5年度12台を設置。</p> <p>【他自治体との比較】 ①いたばし環境アクションポイント事業 23区内においては、世田谷区等で同様の事業を実施。 ②ウォーターサーバー設置 23区内においては、杉並区や足立区等で同様の事業を実施。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	ウォーターサーバー設置台数	台	—	4.0	12.0	12.0	100.0	6.0	7
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	「食」による地産地消でゼロカーボンいたばし2050アクション事業参加者数	人	—	—	100.0	188.0	188.0	200.0	7
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	いたばし環境アクションポイント事業 CO2排出削減量	t-CO2	109.0	132.0	117.0	121.0	103.4	130.0	622.0
		達成率(%)	17.8	21.6	19.1	19.8	—	21.3	令和7年度
④		達成率(%)							

特記事項

指標③については、令和3年度から令和7年度において、累計622t-CO2の削減を目指している。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	29,951	31,091	42,618	36,826	78,906	
事業費	千円	5,252	6,392	17,592	7,629	49,709	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	5,252	6,392	17,592	7,629	49,709
人件費	千円	24,699	24,699	25,026	29,197	29,197	
正職員	千円	24,699	24,699	25,026	29,197	29,197	
	人員	人	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	CO2削減量 (1tあたり)	千円	53.10	265.74	364.26	314.75	606.97

フルコストの増減理由

令和3年度→令和4年度：事業拡充によるコストの増（消耗品費）
 令和4年度→令和5年度：事業拡充によるコストの増（消耗品費・委託料）
 令和5年度→令和6年度：事業拡充によるコストの増（消耗品費・委託料）

事務事業名	310200 - 002 地球温暖化防止対策
-------	------------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
<p>いたばし環境アクションポイント事業等により、エネルギー使用量及びCO2排出量の削減について十分達成でき、省エネ行動の推進に貢献できた。</p> <p>今後も「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」に基づき、板橋区全体における温室効果ガス排出量の削減に努める。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
<p>区内の温室効果ガスの一層の削減を図るため、いたばし環境アクションポイント事業を拡充し、参加者の増加を図る。</p> <p>また、区民・事業者・区の意識改革・行動変容を図る事業を幅広く実施し、意識改革・行動変容の定着を図る。</p>	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
家庭及び事業者における電気・ガスの使用量の削減を進めることにより、中間アウトカムの「CO2排出量の削減」に寄与している			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
区内の温室効果ガスの削減に寄与する事業として、これまでの実績を踏まえ、必要な経費を精査するとともに、事業の拡充も鑑み、適切な予算額を見込んでいる。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	工夫して継続		
2. 具体的な手段を選択してください	-		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
<p>いたばし環境アクションポイント事業において、目標としていたCO2排出量の削減は十分に達成でき、一定の行動変容を図ることができた。今後は、CO2排出量のさらなる削減に向けて、事業の改善や他課との連携により、事業を推進していく。</p>	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310200 - 003 地球温暖化防止普及・啓発				
担当所属	環境政策課	担当者	-	連絡先	3579-2233
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310200	脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	平成18年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <p>○緑のカーテン 本庁舎及び学校を除く区施設</p> <p>○木育啓発事業 区内の幼稚園・保育園等に通う5歳児</p> <p>【手段】</p> <p>○緑のカーテン 緑のカーテン育成のためのプランター、ネット、鉢底石、苗（ゴーヤー、ヘチマ）、土のリサイクル材の配布を行う。</p> <p>○木育啓発事業 日光市産のヒノキの間伐材から製造した箸、子ども向けの啓発用塗り絵（裏面に保護者向け説明文掲載）をセットにして、各園にて先生から児童に配付する。</p> <p>【意図】</p> <p>○緑のカーテン 身近な地球温暖化対策として、施設の冷房使用抑制を図るとともに、区民・事業者への普及のモデル（見本）となる。</p> <p>○木育啓発事業 木材に触れる機会を創出することで環境保全への意識を育む。</p> <p>【成果】</p> <p>○緑のカーテン 区施設だけでなく、一般住宅や事業所等へも普及が図られる。</p> <p>○木育啓発事業 木製箸の配布・木育プログラムの実施率</p>	<p>【現状の周辺環境】</p> <p>○緑のカーテン 区施設で緑のカーテン事業に取り組むことで、区民の方が身近で緑のカーテンに触れたり、職員に育て方を聞くことができる。</p> <p>○木育啓発事業 木製箸に触れることで、「木」について理解を深めることにとどまらず、感性や自然への親しみを深めることに繋がる。</p> <p>【アンケート・統計調査】</p> <p>○緑のカーテン 取組内容、育成状況、各施設の意向等のアンケートを実施。保育園や児童館では、成長の様子を施設内に掲示したり、園だより等で報告している。園児や保護者と一緒に育てることで、緑のカーテンの普及・啓発につながっている。</p> <p>○木育啓発事業 区内の幼稚園・保育園に木製箸の配布調査及び木育プログラムの活用調査アンケートを実施。木育プログラムとは木製箸を通して、木の役割や人と自然との関わりについて体系的な理解を深めるために作成したものであり、環境教育の推進に繋がっている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	緑のカーテンを設置した区施設	箇所	85.0	89.0	88.0	87.0	98.9	85.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
② 活動指標	木製箸を配布した本数	膳	0.0	0.0	—	4,301.0	—	4,301.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③ 成果指標	緑のカーテンを設置した区施設のCO ₂ 削減量	kg	1,321.0	1,383.0	1,368.0	1,352.0	98.8	1,321.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
④ 成果指標	緑のカーテンまちぐるみで広げようプロジェクト	登録件数	153.0	153.0	153.0	157.0	102.6	157.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—

特記事項

木育啓発事業は令和5年度から始まった新規事業である。今後、同事業の実施状況に関するアンケートを取る予定である。このアンケート結果を踏まえて令和6年度以降に成果指標を入力する。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	5,119	5,120	5,174	11,565	12,709	
事業費	千円	1,002	1,002	1,003	7,394	8,538	
特定財源	千円	0	0	0	6,391	7,535	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
一般財源	千円	2	2	3	3	3	
人件費	千円	4,117	4,118	4,171	4,171	4,171	
正職員	千円	4,117	4,118	4,171	4,171	4,171	
人員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	CO ₂ 削減量 (1kgあたり)	千円	3.88	3.70	3.74	8.55	9.62

フルコストの増減理由

令和4年度→令和5年度 新規事業の木育啓発事業開始に伴うコスト増。
令和4年度までは緑のカーテン事業のみを行っていたためコスト指標（分母）を「CO₂削減量（1kgあたり）」と設定していた。
上記に加えて、令和5年度から新たに木育啓発事業を開始した。同事業はコスト指標（分母）を「CO₂削減量（1kgあたり）」として算出することができないため、令和5年度以降、コスト指標（分母）を0としている。

令和 6年度 施策評価表

施策名	310300 環境教育・協働の推進						
SDGs (関連性のあるGOAL)							
基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち						
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生						
所管部長	資源環境部長			所管課長	環境政策課長		
関連所管							

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 持続可能な社会の構築を目指して、区民（家庭）、学校、事業者、団体・地域において、環境と社会経済及び文化とのつながり等の理解を深めることを目的とした環境教育や環境活動の協働を推進する。</p> <p>【役割】 区民（家庭）、学校、事業者、団体・地域の各主体が、環境に興味・関心を持ち、自ら問題を意識し、主体的に取り組む。</p> <p>【主な取り組み】 環境教育プログラム、エコポリスセンター運営、環境協働</p>	<p>区民（家庭）、学校、事業者、団体・地域が、環境に興味・関心を持ち、環境に配慮したライフスタイルやビジネススタイルを実践している。各主体は、地域における環境保全活動に参加したり、各主体間で交流するなど、各主体間の連携・協働が進められている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 人材育成に関わる環境講座参加者数	人	218.0	348.0	243.0	322.0	400.0
		達成率(%)	54.5	87.0	60.8	80.5	令和 7年度
	② 環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合	%	86.4	86.4	83.7	91.9	100.0
		達成率(%)	86.4	86.4	83.7	91.9	令和 7年度
	③ エコ生活（エコアクション9）の実施状況	%	82.3	83.8	82.7	91.4	100.0
達成率(%)		82.3	83.8	82.7	91.4	令和 7年度	
④							
	達成率(%)						
⑤							
	達成率(%)						

特記事項

【エコ生活（エコアクション9）9つの行動内訳】

①冷暖房は適切に使っている（室内温度目安・夏28℃、冬20℃） ②テレビを見ていないときは消している ③照明はこまめに消し、買い替え時にはLEDランプを選んでいる ④冷蔵庫の温度は適切に設定し、開けている時間を短くしている ⑤調理の火力をこまめに調節している ⑥シャワーのお湯はこまめに止めている ⑦お風呂はできるだけ間をあけずに入浴している ⑧できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動し、車を運転するときは燃費の良い運転を心がけている ⑨マイボトル・エコバッグを使っている

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	242,568	250,180	239,353	239,261	298,964
事業費	千円	167,849	174,707	163,345	163,253	222,326
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	2,037	119	108	1,823
一般財源	千円	165,812	174,588	163,237	161,430	222,215
人件費合計	千円	41,165	41,175	41,710	41,710	41,710
経費	千円	33,554	34,298	34,298	34,298	34,928

フルコストの増減理由

R4→R5（工事請負費）R5年度に実施した施設改修工事の総額がR4年度より少なかったため。

施策名	310300 環境教育・協働の推進
------------	-------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容	
評価評語/改善の方向性	
前回の評価結果への対応状況	
対応状況	

【一次評価】所管部長による評価

【成果の分析】 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移	
評価	停滞
講座・展示・イベント等は、区を取り巻く環境や社会情勢を踏まえた企画運営や様々な情報提供を行うことで、一定の成果につながった。指標の実績は微減傾向となっているが、環境に関する意識の醸成や自ら環境活動を実践できる人材の育成は、概ね図られていると捉えている。	
【成果の分析】 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因	
「人材育成に関わる環境講座参加者数」が伸び悩んでいる要因は、教員や保育士が置かれた環境（少ない時間的余裕）を踏まえた実施が十分にできなかったものと分析している（ニーズを踏まえオンライン開催を併用していく予定）。	
【アウトカムの分析】 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か	
評価	妥当
最終アウトカム【区民・団体・事業者・学校等の各主体における環境教育環境活動にかかる協働】の実現に向けては、各主体が環境教育や環境活動に触れる機会の提供を通して、各主体の連携強化が必要である。中間アウトカム「環境に関する意識の醸成」「自ら環境活動を実践できる人材の育成」は、こうした環境教育・協働の推進に寄与するものであり、中間アウトカムとして妥当である。	
【環境変化の分析】 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）	
評価	一部対応済
環境に関する社会状況や区民ニーズの動向に対応していくため、エコポリスセンターとの月次報告会や団体参加の環境活動連絡会において密に連携を取り、施策の充実やネットワークづくりに取り組んできた。また、施策の内容（コンテンツ）についても、環境に関する社会情勢や区民ニーズを反映させ、充実を図った（例：環境教育プログラム、環境なんでも見本市）。	
【今後の展開方針】 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか	
環境に関する意識変革や取り組みの継続の難しさという環境教育・協働の課題を踏まえ、区民（家庭）、学校、事業者、団体・地域の各主体に幅広くアプローチし、環境教育・協働の機会を提供していく。提供方法についても、オンライン開催（ライブ配信）などDXを活用することで、機会拡大を図っていく。また、令和8年度に向けては、区民等の環境意識の変化を図る指標を検討していく。	

【二次評価】区の最終評価

評価評語/改善の方向性	《概ね順調/工夫して継続》
環境に対する意識を効果的に高める手法を多角的に研究し、SNSや動画配信などICT技術を活用しながら、幅広い主体が環境活動を実践する機会の拡大を図ること。また、エコアクション9のようなメニューの多様化・充実、継続的なフォローアップの実施を検討し、各主体間のコミュニケーションと連携を強化すること。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310300 - 001 環境協働推進経費				
担当所属	環境政策課	担当者	-	連絡先	3579-2233
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310300	環境教育・協働の推進			
根拠法令要綱	環境教育等促進法、環境教育推進協議会設置要綱				
計画事業番号		事業期間	平成19年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要 【対象】 区民（家庭）、学校、事業者、団体・地域 【手段】 環境教育や環境に関する普及啓発のイベント等の機会を通して、各主体間の協働を推進する。併せて、環境教育推進協議会の専門部会が取り組む環境教育プログラムの研究・実施も協働の機会として取り組む。 【意図】 各主体の協働を深めることで、環境教育・協働を担う人材を育成する。 【成果】 人材育成に関わる環境講座参加者数、エコ生活（エコアクション9）の実施率	環境変化・備考 【現状の周辺環境】 学習指導要領では、環境に関心・知識を持ち、環境との関わりについて総合的な理解と認識の上で、環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる思考力等を身に付け、環境の創造活動に主体的に参加し、環境への責任ある行動をとることができる態度を育成することを目的に、環境教育の視点が散りばめられている。 地域の環境活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、縮小を余儀なくされ、今後はコロナ禍の活動のあり方も考慮していく。活動の担い手の高齢化が進んでおり、多様な世代の参画が課題となっている。 【アンケート・統計調査】 区立保育園・幼稚園・小学校・中学校を対象に、環境教育・学習に関する活動についてアンケートを実施。環境教育プログラムを活用している割合は約8割、外部人材を活用している割合は約6割であった。（令和4年度実績） 【他自治体との比較】 環境教育等促進法第8条の規定に基づく行動計画の策定状況（23区）…3区（板橋区・足立区・目黒区）※足立区・目黒区は環境基本計画に統合
---	--

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	協働による講座・講習会等の実施回数	回	8.0	9.0	10.0	10.0	100.0	11.0	12.0
		達成率(%)	66.7	75.0	83.3	83.3		91.7	令和 7年度
② 成果指標	人材育成に関わる環境講座参加者数	人	218.0	348.0	365.0	243.0	66.6	322.0	400.0
		達成率(%)	54.5	87.0	91.3	60.8		80.5	令和 7年度
③ 成果指標	エコ生活（エコアクション9）の実施状況	%	82.3	83.8	89.2	82.7	92.7	91.4	100.0
		達成率(%)	82.3	83.8	89.2	82.7		91.4	令和 7年度
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	33,371	33,308	33,757	33,745	33,757	
事業費	千円	439	368	389	377	389	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	439	368	389	377	389
人件費	千円	32,932	32,940	33,368	33,368	33,368	
正職員	千円	32,932	32,940	33,368	33,368	33,368	
人員	人	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	人材育成講座参加者一人あたり	千円	153.08	95.71	92.48	138.87	104.84

フルコストの増減理由

事務事業名	310300 - 001 環境協働推進経費
-------	-----------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/事業手法の見直し
令和4年度は、コロナによる制限の緩和と積極的な周知活動により、全面的に事業の実施回数・参加者数を回復させることができました。また、環境教育実践研究部会による実践授業の様子を動画をまとめて配信することで、教育現場の様子を多くの区民に知ってもらい、環境への意識向上のきっかけを提供することができました。今後も、区民にとって分かりやすく、親しみのあるコンテンツを積極的に発信し、より効果的な環境教育の推進を図っていく。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
環境教育プログラム実践動画をSNSやイベントで活用することで、動画の再生回数を着実に伸ばし、環境への意識向上に貢献した。また、令和5年度に初めて実施した「ユース環境活動発表会」では、大学・環境登録団体・エコポリスセンター・区が協働して企画・運営を行い実施した。こうした経験を活かし、協働の機会の創出を図っていく。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	70%未満がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	「人材育成に関わる環境講座参加者数」は、保育士の現在の業務と研修参加のバランスを勘案し、保育士研修の回数が減少したことが主な要因である（5回→2回）。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
環境教育プログラム実践動画の公開に加え、令和5年度から木育啓発事業の動画配信を行った。このほか、区内の指定管理者初のライブ配信「緑のカーテン育成講習会」を実施し、環境学習の機会を拡大し、中間アウトカムの「環境に関する意識の醸成」に寄与した。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
事業手法の工夫のほか（SNSを活用した環境学習の実施＝ペーパーレス化）、予算編成及び予算管理を通して、必要な経費の精査を行うとともに、効率的な経費の運用にあたっている。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
教員や保育士が置かれた環境（少ない時間的余裕）を踏まえた実施が十分に出来なかったため、講座・研修等についてオンライン形式等参加者の希望に応じることで参加者増を図る。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	順調/事業手法の見直し
令和5年度は、保育士の研修体制が変更したことに伴い、研修の回数が減り、「人材育成に関わる環境講座参加者数」が計画値に達しなかった。一方、初の試みである「ユース環境活動発表会」では環境登録団体が主催のもと、エコポリスセンターにて開催した。大学・エコポリスセンター・区が協働のうえ、企画・運営し、保育園から大学までの生徒や教師が環境への取組みについてグループ発表を行った結果、「協働による講座・講習会等の実施回数」の計画値に達した。今後は保育士が参加しやすい講座・研修等を模索し、参加者増を図る。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310300 - 002 エコポリスセンター運営経費	
担当所属	環境政策課	担当者
連絡先	3579-2233	
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310300	環境教育・協働の推進	
根拠法令要綱	環境教育等促進法、東京都板橋区立エコポリスセンター条例		
計画事業番号	055	事業期間	平成 6年度 ~
施設種別	環境関連施設		

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民・区民団体・事業者・学校等</p> <p>【手段】 エコポリスセンターに指定管理者制度を導入することで、民間の知見やノウハウを活用して、事業を企画・実施するとともに、区民・区民団体等の活動を支援する。 ※R5年度来館者数 137,610人</p> <p>【意図】 環境に配慮した生活様式を普及・促進する。</p> <p>【成果】 区民・区民団体・事業者などが自らの環境活動を実践し、地球規模で考え行動できる「環境力の高い」人材育成が図られる。</p>	<p>【開始時の周辺環境】 「だれもが快適に暮らせる社会を目指して、地域環境から地球規模の環境にまで配慮した生活様式を普及促進することにより、人と環境の共生する都市の形成に寄与し、もって区民の生活環境の向上に資すること」を目的に開設。</p> <p>【区民意識意向調査】 令和5年度に実施した区民意識意向調査において、「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている」の満足度は5割近くとなっている一方、不満は1割未満。また環境のために現在取り組んでいることとして、「食品が無駄にならない行動」「省エネ家電の設置」が5割近くとなっている。</p> <p>【備考】 平成24年度から指定管理者制度導入。平成29年度～「板橋エコみらいプロジェクト」(代表企業(株)小学館集英社プロダクション)</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	展示・イベント	回	753.0	802.0	851.0	918.0	107.9	934.0	950.0
		達成率(%)	79.3	84.4	89.6	96.6		98.3	令和 7年度
② 活動指標	情報提供	回	5,897.0	9,603.0	4,000.0	9,880.0	247.0	4,000.0	4,000.0
		達成率(%)	147.4	240.1	100.0	247.0		100.0	令和 7年度
③ 活動指標	イベント参加者数	人	24,398.0	32,134.0	35,256.0	38,858.0	110.2	40,179.0	41,500.0
		達成率(%)	58.8	77.4	85.0	93.6		96.8	令和 7年度
④ 成果指標	人材育成に関わる環境講座参加者数	人	214.0	348.0	365.0	243.0	66.6	322.0	400.0
		達成率(%)	53.5	87.0	91.3	60.8		80.5	令和 7年度
⑤ 成果指標	環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合	%	86.4	86.4	90.9	83.7	92.1	91.9	100.0
		達成率(%)	86.4	86.4	90.9	83.7		91.9	令和 7年度
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	209,197	216,872	205,596	205,516	265,207	
事業費	千円	167,410	174,339	162,956	162,876	221,937	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	2,037	119	108	1,823	111
	一般財源	千円	165,373	174,220	162,848	161,053	221,826
人件費	千円	8,233	8,235	8,342	8,342	8,342	
正職員	千円	8,233	8,235	8,342	8,342	8,342	
	人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	33,554	34,298	34,298	34,298	34,928	
減価償却費	千円	33,554	34,298	34,298	34,298	34,928	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	イベント参加者一人当たり	千円	8.57	6.75	7.17	5.29	6.60

フルコストの増減理由

R4→R5 (工事請負費) R5年度に実施した施設改修工事の総額がR4年度より少なかったため。

令和 6年度 施策評価表

施策名	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進								
SDGs (関連性のある GOAL)	3 <small>すべての人に健康と福祉を</small>	7 <small>エネルギーをみんなにそしてクリーンに</small>	9 <small>産業と技術革新の基盤をつくろう</small>	11 <small>住み続けられるまちづくりを</small>	12 <small>つくる責任 つかう責任</small>	13 <small>気候変動に具体的な対策を</small>				
基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち									
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生									
所管部長	資源環境部長					所管課長	環境政策課長			
関連所管										

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 環境汚染物質及び化学物質の適正管理、自動車の排気ガスによる大気汚染の改善等によって、快適な生活環境をめざす。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 [主体 区] 環境保全活動の普及啓発を図る。 [主体 区民・事業者] 排気・騒音など生活や事業活動に伴う周辺環境への影響に配慮する。</p> <p>【主な取り組み】 公害防止、大気監視、騒音監視等</p>	区による事業者等への規制指導等により、適切な公害防止措置が講じられている。事業者等へは、規制に関する情報提供を行い、法令遵守に基づいた事業活動が行われている。 また、区内の環境情報を広く区民等に周知し、環境負荷の低減に向けた行動変容（環境配慮行動）が図られることにより、安全で快適な生活環境が確保されている。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 微小粒子状物質（PM2.5）の基準値Bレベル以上の日数	日	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② 騒音に係る環境基準の達成率	%	76.4	76.9	77.4	85.0	85.0
		達成率(%)	89.9	90.5	91.1	100.0	令和 7年度
	③ 自動車騒音に関する相談件数	件	5.0	0.0	1.0	4.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	令和 7年度
	④ 環境保全に関する事業者向け研修会を受講して意識変化があった割合	%	83.4	86.5	89.5	7	0.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—
	⑤						
		達成率(%)					

特記事項

令和4年度に引き続き、令和5年度の微小粒子状物質の（PM2.5）の基準値Bレベル（測定値の1時間平均値が環境基準の1日平均値35 μ g/m3を超過）以上の日はなく、大気環境の改善と捉えている。
 近年の騒音の環境基準の達成率は、目標値に対し約90%とほぼ横ばいであるが、これは自動車単体騒音規制の対策として実施されている、自動車の環境性能向上（技術開発）や環境性能に優れた自動車導入に対する補助金を含めた普及啓発の効果が一巡したものと推察している。今後は、国で審議中の更なる自動車単体騒音規制の動向等を注視していく。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	138,364	154,144	172,639	169,395	164,044	
事業費	千円	45,330	44,617	55,851	52,607	47,256	
特定財源	国庫支出金	千円	150	50	250	41	250
	都支出金	千円	2,320	2,289	17,160	15,992	7,589
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	180	113	142	84	151
	その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	42,680	42,165	38,299	36,490	39,266	
人件費合計	千円	93,034	109,527	116,788	116,788	116,788	
経費	千円	0	0	0	0	0	

フルコストの増減理由

令和5年度は、公害規制業務管理システムの更新を行ったことから、事業費が増額となった。

施策名	310400 快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進
------------	-------------------------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容	
評価用語/改善の方向性	-
-	
前回の評価結果への対応状況	
対応状況	-
-	

【一次評価】所管部長による評価

[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移	
評価	概ね順調
<p>大気に関する項目については、PM2.5のBレベル以上の日数が0日であり、大気環境は改善されているものと評価できる。騒音に関する項目についても、環境基準の目標値に対する達成率が90%を維持し、相談件数も令和3年度と比較して減少しており、これらを総合的に勘案すると、事業の成果は順調であると評価している。</p>	
[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因	
-	
[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か	
評価	妥当
<p>区は、継続的に区内の環境調査を実施し、その結果を公表している。また、国や都が板橋区の調査結果を他の地域の結果とともに取りまとめ、環境施策等を決定する上での基礎資料として活用できるように、調査結果を国や都に提供している。また区は、これらの結果を環境白書等により公表しており、区民や事業者の環境に対する意識啓発に寄与しているものと捉えており、以上から中間アウトカムは妥当と評価している。</p>	
[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）	
評価	一部対応済
<p>現在国で審議されている、更なる自動車単体騒音規制の動向について注視していくとともに、都が進めるゼロエミッション・ビークル（ZEV）普及の進捗具合等の社会情勢を鑑み、目標値のあり方について検討を行っていく。なお、測定結果について引き続き都及び国に対し提供していく。</p>	
[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか	
<p>引き続き、大気環境や騒音環境の状況について、調査を通じて、モニタリング（監視）を行っていく。また、大気環境や騒音環境に関する社会情勢の変化や国や都の動向を注視しながら、公害防止の取り組みを推進し、快適で健康に暮らせる生活環境の実現を目指していく。</p>	

【二次評価】区の最終評価

評価用語/改善の方向性	《概ね順調/目標値・指標の見直し》
<p>事業者への規制指導を通じた公害防止に関する取組は、適切な措置が講じられている。一方、区民の環境負荷低減に向けた取組については、引き続き、区民の生活様式に応じた幅広い媒体を用いた情報提供を検討すること。また新たな規制等の社会動向や住民の環境意識の高まりに応じて、職員の知識習得や対策に取り組むこと。成果指標については、施策のアウトカムを評価できる指標を引き続き検討すること。</p>	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310400 - 001 啓発宣伝	
担当所属	環境政策課	担当者
連絡先	3579-2591	
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号	事業期間	平成13年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 板橋区内の事業所</p> <p>【手段】 工場・指定作業場等の公害防止や、地球温暖化対策・省エネルギー対策など環境保全に関する研修会等による意識啓発・情報提供を行い、事業所における環境保全の啓発を実施する。</p> <p>【意図】 区内事業者に地球温暖化防止への社会的責任に対する意識の向上と環境に対する適切なリスク管理を図ってもらう。</p> <p>【成果】 区内事業者の自主的な管理、保管体制が整備され、公害防止や環境保全が図られる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 地球温暖化防止対策の一環として、CO2排出量の一層の削減が求められている。</p> <p>【アンケート・統計調査】 中小企業においては、環境対策を担う部署が少ないことや専門知識を持った人材がいないことなど、環境への取組に対するノウハウが乏しい実態がある。本研修会参加者のアンケート結果からも本事業の需要は高い。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	環境保全研修会等の実施	回	4.0	4.0	4.0	4.0	100.0	4.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
② 活動指標	環境保全研修会等の参加者数	人	114.0	67.0	135.0	108.0	80.0	135.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
③ 成果指標	環境マネジメントシステム新規認証取得者数(※)	社	2.0	6.0	5.0	2.0	40.0	5.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
④ 成果指標	区の補助金を活用した事業所のCO2排出削減量	t	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
⑤ 成果指標	地球温暖化対策や公害防止等の環境保全に関する事業者向け研修会を受講	%	83.4	86.5	0.0	89.5	0.0	0.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—

特記事項

※環境マネジメントシステム新規認証取得者数とは、板橋エコアクション、ISO14001、エコアクション21の3種類の環境マネジメントシステムのいずれかを新規に認証取得した事業者の合計数。
補助金事業は令和2年度をもって事業終了。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	6,233	6,235	6,309	6,309	6,309
事業費	千円	470	470	470	470	470
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	470	470	470	470
人件費	千円	5,763	5,765	5,839	5,839	5,839
正職員	千円	5,763	5,765	5,839	5,839	5,839
人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310400 - 002 公害対策
担当所属	環境政策課
担当者	-
連絡先	3579-2594
関連所属	

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、土壌汚染対策法、板橋区土壌汚染調査・処理要綱		
計画事業番号		事業期間	平成 9年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 工場・指定作業場等事業場</p> <p>【手段】 工場等事業場の許認可・届出、及び公害発生源への規制・指導等について、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例等の環境法規に基づき指導している。</p> <p>【意図】 公害発生の未然防止を図る。</p> <p>【成果】 工場等に由来する公害の防止は、固定発生源からの環境負荷の低減、公害苦情等の抑止等、環境保全施策を推進する上で必要不可欠な事業である。工場・事業場等に対する苦情件数は近年増加傾向から横ばいに転じており、公害指導の質の向上を図りながら、公害関係法令に基づき適正に対応している。</p>	<p>【現状の周辺環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別区の中でも比較的工業系の用途地域が多いが、近年では、工場等事業場の移転や廃止が増え、跡地の大規模開発に伴い住工混在地域が増えている。また、新型コロナウイルス感染予防対策に伴い在宅勤務等を行う区民が増加している。 ・国土交通省の推計によると、建物の解体等工事は増加していき、2028年にピークを迎えるとしており、これに伴い届出も増加することが予想される。 <p>【今後の予想される周辺環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体工事の増加に伴う、建設行為の増加 <p>【他自治体との比較】 法律及び東京都条例を根拠に指導等を行っているため、東京都及び特別区23区・市は統一的に公害対策を実施している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	工場認可、届出による指導	件	1,055.0	1,165.0	1,000.0	1,203.0	120.3	1,000.0	1,000.0
		達成率(%)	105.5	116.5	100.0	120.3		100.0	令和 7年度
② 活動指標	工場相談処理数	件	201.0	173.0	220.0	141.0	64.1	220.0	▽
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
③ 成果指標	工場・事業場等に対する苦情件数	件	225.0	228.0	220.0	255.0	115.9	220.0	▽
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	70,161	90,567	112,651	111,216	103,089	
事業費	千円	2,650	2,452	17,552	16,117	7,990	
特定財源	国庫支出金	千円	150	50	250	41	250
	都支出金	千円	2,320	2,289	17,160	15,992	7,589
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	180	113	142	84	151
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0
人件費	千円	67,511	88,115	95,099	95,099	95,099	
正職員	千円	67,511	88,115	95,099	95,099	95,099	
	人員	人	8.2	10.7	11.4	11.4	11.4
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1日あたり	千円	192.22	248.13	308.63	304.70	282.44

フルコストの増減理由

令和5年度は、公害規制業務管理システムの改修・導入（回線構築・データ移行等）を行ったことから、事業費が増額となった。そのためフルコストが増加した。

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310400 - 003 大気監視
担当所属	環境政策課
担当者	-
連絡先	3579-2594
関連所属	

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	環境基本法、大気汚染防止法、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、板橋区環境基本計画2025		
計画事業番号		事業期間	~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民・事業者</p> <p>【手段】 区内の大気汚染物質の測定・調査を実施し、公表する。</p> <p>【意図】 自動車の排気ガスによる大気汚染の状況をモニタリングする。</p> <p>【成果】 自動車排気ガスに由来するNOx、SPMは環境基準を達成。また、PM2.5のBレベル以上の日はなし。</p>	<p>【現状の周辺環境】 令和5年度は、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、一酸化炭素、微小粒子状物質は、環境基準を満たしていた。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 東京都は、2030年の都内の乗用車新車販売に占めるゼロエミッション・ビークル（ZEV）の割合を50%まで高めるとの目標を掲げたことから、自動車排気ガスの更なる減少が見込まれる。</p> <p>【区民からの意見】 令和5年度に区民から当課へ寄せられた大気環境に関する区民相談はなし。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度			令和6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	大気情報システムのアクセス数	件	263,131.0	347,419.0	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
② 活動指標	環境情報のツイッター発信数	件	146.0	125.0	130.0	136.0	104.6	140.0	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
③ 成果指標	PM2.5のBレベル以上の日数	日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	∞
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
④ 成果指標	区役所の低公害車率	%	72.0	70.0	72.0	70.8	98.3	72.0	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
⑤									

特記事項

大気情報システムは、令和4年度末に廃止したため、以降の評価は実施しない。
 令和3年度は新型コロナウイルス感染症により事業等が中止になり、ツイッターによる環境情報の発信を強化したため、件数が一時的に増加した。
 令和5年度に、庁用車を13台減車（うち10台が低公害車）、12台増車（うち8台が低公害車）した。増車した車両のうち低公害車に該当していない4台の車体形状は、低公害車として指定されている車両が存在しない車体形状であった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	41,687	38,477	34,986	33,364	36,494	
事業費	千円	31,807	28,595	24,976	23,354	26,484	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	31,807	28,595	24,976	23,354	26,484
人件費	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1日あたり	千円	114.21	105.42	95.85	91.41	99.98

フルコストの増減理由

大気測定室2箇所の廃止に伴う使用料及び賃借料の減額により、事業費が減少となった。

事務事業名	310400 - 003 大気監視
-------	-------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
令和3年度に引き続き、PM2.5のBレベル以上の日数が0日であり、大気環境も改善されているため、事業の成果は順調であると評価する	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
二酸化窒素、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、一酸化炭素及び微小粒子状物質については、環境基準を満たしている。昭和50年代に環境基準を達成し、現在低値で推移している二酸化硫黄、一酸化炭素以外の汚染物質については、減少傾向にあり、大気環境は改善が進んでいるものと評価できる。今後も、区民の安全・安心につながるよう、大気環境の監視に取り組んでいく。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
区は、継続的に区内の環境調査を実施し、その結果を公表している。また、国や都が板橋区の調査結果を他の地域の結果とともにに取りまとめ、環境施策等を決定する上での基礎資料として活用できるように、調査結果を国や都に提供している。また区は、これらの結果を環境白書等により公表しており、区民や事業者の環境に対する意識啓発に寄与しているものと捉えており、以上から中間アウトカムに大きく寄与しているものと評価している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
大気環境の短期間調査結果や周辺自治体の測定室データの活用等により、大気環境監視体制に不足が生じることのないよう留意しつつ、各測定室における測定項目を見直し、それに係る経費の最適化に努めている。令和5年度は、測定箇所が重複している測定項目(1箇所)の測定を終了した。それに伴い、事業費を5,218千円削減した。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	工夫して継続		
2. 具体的な手段を選択してください	-		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
PM2.5のBレベル以上の日数が0日であることを含め、二酸化窒素・浮遊粒子状物質・二酸化硫黄・一酸化炭素・微小粒子状物質は環境基準を満たしており、良好な大気環境が確保されている。また、良好な大気環境の確保に向けた、区役所の低公害車率も目標値に対する達成率が90%を維持しており、これらを総合的に勘案し、事業の成果は順調であると評価している。引続き、区民の安全・安心につながるよう、大気環境の監視に取り組んでいく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310400 - 004 騒音監視	
担当所属	環境政策課	担当者 -
連絡先	3579-2594	
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち	
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生	
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進
根拠法令要綱	環境基本法、騒音規制法、振動規制法、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、エコポリス板橋クリーン条例	
計画事業番号	事業期間	～
		施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民・事業者</p> <p>【手段】 区内の自動車騒音の測定・調査を実施し、公表する。</p> <p>【意図】 自動車等の騒音の状況をモニタリングする。</p> <p>【成果】 騒音の環境基準の達成率は、前年度比で伸びているが、計画値の達成には至っていない。</p>	<p>【現状の周辺環境】 区による自動車公害調査（騒音：定点8地点）の要請限度の達成率は、令和3年度が94%、令和4・5年度は100%であった。新幹線鉄道騒音は、令和3・4・5年度と環境基準75dB以下を達成した。</p> <p>※ 要請限度＝自動車交通による騒音・振動により沿道の生活環境が著しく損なわれていると区長が認めるとき、道路管理者又は公安委員会に対し改善を要請する際の基準</p> <p>【区民からの意見】 自動車騒音（指標②）以外に、航空機騒音に関する相談は2件（全て羽田空港の機能強化に関するもの）。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	騒音の環境基準の達成率	%	76.4	76.9	85.0	77.4	91.1	85.0	85.0
			達成率(%)	89.9	90.5	100.0	91.1	—	100.0
② 成果指標	自動車騒音に関する相談件数	件	5.0	0.0	∞	1.0	—	∞	∞
			達成率(%)	—	—	—	—	—	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

道路騒音に関する相談件数は、令和3年度と比べて減少となっている。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	8,340	7,053	7,422	7,198	7,002	
事業費	千円	930	3,759	4,085	3,861	3,665	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	930	3,759	4,085	3,861	3,665
人件費	千円	7,410	3,294	3,337	3,337	3,337	
正職員	千円	7,410	3,294	3,337	3,337	3,337	
人員	人	0.9	0.4	0.4	0.4	0.4	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1日あたり	千円	22.85	19.32	20.33	19.72	19.18

フルコストの増減理由

令和5年度は、5年毎に実施する自動車公害調査の計画策定に伴う事業費の増加により、フルコストが増加となった。

事務事業名	310400 - 004 騒音監視
-------	-------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
<p>近年の騒音の環境基準の達成率は目標値に対して約90%で推移し、自動車騒音に関する相談件数も年々減少していることから、事業の成果は概ね順調と評価する。引き続き社会情勢の変化を注視し、目標値の設定を検討していく。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
<p>自動車騒音の測定を実施し、道路管理者である国や都が板橋区の調査結果を他の地域の結果とともに取りまとめ、環境施策等を決定する上での基礎資料として活用できるように、測定結果を国や都に提供している。 なお、成果指標に対する目標値の設定については、社会情勢等を十分に考慮し、引き続き検討していく。</p>	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満したか			—
2. 成果指標の計画値を満したか			全てが90%以上
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか			大きく寄与している
<p>道路管理者である国や都が環境施策等を決定する上での基礎資料として活用できるよう、自動車騒音の測定結果を国や都に提供している。 区内の騒音発生状況を把握し（モニタリング）、その結果を国や都に提供することで施策形成にも貢献しており、中間アウトカムに寄与するものである。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか			最適である
2. コスト最適化への取組状況			
<p>令和5年度は、5年毎に実施する自動車公害調査の計画策定に伴う事業費の増加により、フルコストが増加となった。引き続きコストの最適化に取り組んでいく。</p>			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください			目標値・指標の見直し
2. 具体的な手段を選択してください			コスト維持/活動・成果指標の向上
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
<p>引き続き、騒音環境の状況について、調査を通じて、モニタリング（監視）を行っていく。その結果を都及び国に提供し、より効果的な環境施策の実現につながるよう取り組んでいく。 また、現在国で審議されている更なる自動車単体騒音規制の動向を注視していくとともに、都が進めるゼロエミッション・ビーグル（ZEV）普及の進捗具合等の社会情勢を鑑みながら、目標値の設定について検討を行っていく。</p>			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/目標値・指標の見直し
<p>近年の騒音の環境基準の目標値に対する達成率が90%を維持し、相談件数も令和3年度と比較して減少しており、事業の成果は順調であると評価している。引き続き、区民の安全・安心につながるよう、騒音監視に取り組んでいく。</p>	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310400 - 005 事務諸経費	
担当所属	環境政策課	担当者 -
連絡先	3579-2591	
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310400	快適で健康に暮らせる生活環境の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 環境保全（公害対策）事業に係る事務諸経費	

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
①		達成率(%)						
②		達成率(%)						
③		達成率(%)						
④		達成率(%)						
⑤		達成率(%)						
特記事項								







【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	11,943	11,812	11,271	11,308	11,150
事業費	千円	9,473	9,341	8,768	8,805	8,647
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	9,473	9,341	8,768	8,805	8,647
人件費	千円	2,470	2,471	2,503	2,503	2,503
正職員	千円	2,470	2,471	2,503	2,503	2,503
人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和 5年度決算は令和 4年度決算と比較し、約536千円減となっている。主な減少要因は、EV車導入に伴う工事費の皆減が挙げられる。

令和 6年度 施策評価表

施策名	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進					
SDGs (関連性のあるGOAL)	     						
基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち						
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生						
所管部長	資源環境部長			所管課長	資源循環推進課長		
関連所管	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所						

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 ごみの発生抑制と資源の再利用・リサイクルなど環境に配慮した意識啓発と資源回収を推進し、資源循環型都市の実現をめざす。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 [区（行政）] ごみの発生抑制と適正な処理に取り組む [区民（家庭）・地域・NPO・ボランティア] ごみの減量に努め、リデュース・リユース・リサイクルを実践する。 [関係機関・事業者] 商品包装の簡素化や資源回収に努める。</p> <p>【主な取り組み】 資源回収、集団回収、不燃ごみの資源化など</p>	<p>循環型社会の実現に向け、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再利用、リサイクル：再生利用）を推進していくために、区による資源回収の充実、ふれあい指導・大規模排出指導・環境学習等を通じた区民・事業者への意識啓発、町会・自治会等と連携した意識啓発活動並びに集団回収等の区民の自主的な活動への支援など多角的な事業が実施されている。</p> <p>また、社会全体で、ごみを出さない暮らし方や、ごみの発生源を増やさない生産方法を区、区民及び事業者等による協働の手法によって生み出す、板橋区版資源循環型都市を実現している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 区民1人あたりごみ排出量（ごみ量＋資源量）	g	645.0	622.0	598.0	607.1	598.0
		達成率(%)	107.9	104.0	100.0	101.5	令和 7年度
	② リサイクル率（総資源化量÷総排出量×100）	%	22.5	22.0	21.8	27.3	28.0
		達成率(%)	80.4	78.6	77.9	97.7	令和 7年度
	③ 区民1人あたりごみ排出量の削減率（平成27年度689gに対して）	%	6.3	9.7	13.2	11.9	13.2
達成率(%)		47.7	73.5	100.0	90.2	令和 7年度	
④							
⑤							
特記事項							

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	7,510,429	7,940,800	8,613,824	8,443,298	8,438,557
事業費	千円	5,743,415	6,171,014	6,819,338	6,648,812	6,670,359
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	17,352	0	8,624	5,000
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	534,328	523,073	584,103	541,418
	その他	千円	444,664	641,110	610,228	506,649
一般財源	千円	4,747,071	5,006,831	5,616,383	5,595,745	5,650,126
人件費合計	千円	1,716,319	1,716,504	1,741,204	1,741,204	1,714,916
経費	千円	50,695	53,282	53,282	53,282	53,282
フルコストの増減理由						
東京二十三区清掃一部事務組合経費分担金の増による中間処理経費の増等						

施策名	310500 循環型社会の実現に向けた取り組みの推進
------------	----------------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容	
評価用語/改善の方向性	-
-	
前回の評価結果への対応状況	
対応状況	-
-	

【一次評価】所管部長による評価

【成果の分析】 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移	
評価	概ね順調
区民1人あたりのごみ排出量及び区民1人あたりのごみ排出量の削減率は着実に目標値に近づいている。リサイクル率については停滞傾向にあるが、令和6年度から開始するプラスチックごみの資源化によりリサイクル率の向上が見込まれることから、今後の推移を見守る必要がある。	
【成果の分析】 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因	
リサイクル率について目標値と乖離しているが、令和6年度から開始するプラスチックごみの資源化により、今後リサイクル率の向上が見込まれるため。	
【アウトカムの分析】 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か	
評価	妥当
最終アウトカムである「資源循環型都市の実現」を達成するためには、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）を推進し、区民や事業者に向けて意識啓発活動を行うことが必要不可欠である。このことから、中間アウトカムである「ごみ排出量の削減」「リサイクル率の上昇」「循環型社会実現への協働意識の醸成」は資源循環型都市の実現に寄与するものであり、中間アウトカムとして妥当である。	
【環境変化の分析】 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）	
評価	対応済
令和4年に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されたことを踏まえ、令和6年4月からのプラスチックごみ再資源化開始に向けて必要な準備を行った。	
【今後の展開方針】 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか	
資源循環型都市の実現には区民・事業者の協力が不可欠であることから、行政による確実な資源回収の実施に加え、ふれあい指導や環境学習等を通じた区民・事業者への意識啓発、町会・自治会等と連携した意識啓発活動並びに集団回収等の区民の自主的な活動への支援など、区、区民及び事業者等による協働の手法を活用して施策を展開していく。	

【二次評価】区の最終評価

評価用語/改善の方向性	《概ね順調/工夫して継続》
令和6年度から開始したプラスチックの資源化については、今後実施していく中で課題を整理し、リサイクル率向上に向けた取組を推進すること。また、ごみの発生抑制や減量に向けた取組についても、引き続き区民や事業者に対し、様々な機会や媒体を通じて意識啓発に取り組むこと。	

【施策を構成する事務事業一覧】

(単位：千円)

事務事業名	R 5年度決算	R 6年度予算
	フルコスト	フルコスト
310500 -001 板橋かたつむり運動推進経費	12,461	13,376
310500 -001 食品廃棄物減量	3,933	4,099
310500 -002 環境美化啓発経費	54,529	62,250
310500 -003 エコポリス板橋環境行動会議、エコポリス板橋地区環境行動委	14,298	15,264
310500 -004 プラスチックごみ再資源化推進経費	80,287	0
310500 -005 ふれあい指導	309,956	311,785
310500 -005 大規模建築物排出指導	4,462	0
310500 -006 浄化槽指導経費	1,759	1,767
310500 -007 集団回収	92,286	97,279
310500 -008 東清掃事務所維持管理経費	47,720	56,645
310500 -009 西清掃事務所維持管理経費	28,991	30,806
310500 -010 志村清掃事業所維持管理経費	36,975	37,804
310500 -011 中継所維持管理経費	15,284	14,993
310500 -012 リサイクルプラザ運営経費	65,292	65,687
310500 -013 安全衛生管理経費	35,456	36,241
310500 -014 事務諸経費（収集総務）	34,639	46,642
310500 -015 車両雇上	2,488,495	2,542,363
310500 -016 車両更新・維持	302,611	310,167
310500 -017 中継所作業運営	379,797	387,006
310500 -018 古紙回収	215,316	221,906
310500 -018 ペットボトル回収	354,355	359,306
310500 -018 びん・缶回収	348,144	359,731
310500 -018 トレイ・ボトル回収	28,813	0
310500 -018 使用済小型電子機器等回収	24,742	25,910
310500 -018 拠点回収	44,273	43,118
310500 -018 不燃ごみ資源化	217,943	263,673
310500 -019 し尿収集経費	11,625	12,844
310500 -020 動物死体処理経費	12,965	13,702
310500 -021 ごみ処理券経費	63,281	57,950
310500 -022 粗大ごみ受付センター経費	106,741	105,982
310500 -023 資源化施設運営経費	346,530	229,172

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310500 - 001 板橋かたつむり運動推進経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2258
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民 ・区内小学1年生、小学4年生、保育園・幼稚園児 <p>【手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区ホームページ上での小学1年生向け環境啓発紙・小学4年生向け環境啓発冊子の公開 ・東西清掃事務所、清掃車両係と連携し、小学4年生、保育園・幼稚園児対象の出前講座を実施 ・町会、自治会から推薦された区民をリサイクル推進員に委嘱し、研修を実施。任期2年。 ・啓発ポスターの掲示 <p>【意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方やリサイクルへの正しい理解 ・リサイクル推進員の資質向上 ・3Rの周知と啓発 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する意識の向上により、資源循環型社会の構築に寄与する。 ・地域でのごみの減量、リサイクルの啓発を図る。 	<p>【現状の周辺環境】</p> <p>国内のみならず地球規模で資源が効率的かつ持続的に使われる社会を実現することが目標とされている。</p> <p>【アンケート・統計調査】</p> <p>板橋かたつむり運動の認知度：「名称も内容も知っている」(7.7%) 「名称は知っているが内容は知らない」(15.8%)</p> <p>【区民からの意見】</p> <p>「劇やクイズなどにより、児童が飽きずに学ぶことができた」 「ごみの分別やリサイクルに対する意識が向上した」など（出前講座実施施設から）</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>啓発冊子：「北区の家庭ごみ・資源の分け方出し方」（東京都北区）</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	リサイクル推進員	人	529.0	506.0	506.0	504.0	99.6	506.0	506.0
		達成率(%)	104.5	100.0	100.0	99.6		100.0	令和 6年度
② 活動指標	小学校、幼稚園・保育園 出前講座実施回数	回	0.0	43.0	44.0	44.0	100.0	44.0	44.0
		達成率(%)	0.0	97.7	100.0	100.0		100.0	令和 6年度
③ 活動指標	かたつむりのおやくそく ハンドブック発行部数	部	40,000.0	45,000.0	359,000.0	359,000.0	100.0	45,000.0	45,000.0
		達成率(%)	88.9	100.0	797.8	797.8		100.0	令和 6年度
④ 活動指標	リサイクル推進員研修会 開催回数	回	2.0	2.0	2.0	2.0	100.0	2.0	2.0
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 6年度
⑤ 成果指標	小学校、幼稚園・保育園 出前講座の参加人数	人	0.0	2,892.0	4,000.0	2,996.0	74.9	3,500.0	3,500.0
		達成率(%)	0.0	82.6	114.3	85.6		100.0	令和 6年度

特記事項

令和2年度及び令和3年度小学校、保育園・幼稚園出前講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を中止した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	14,048	13,667	13,347	12,461	13,376
事業費	千円	3,345	2,961	2,502	1,616	2,531
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	26	22	28	18
一般財源	千円	3,319	2,939	2,474	1,598	2,496
人件費	千円	10,703	10,706	10,845	10,845	10,845
正職員	千円	10,703	10,706	10,845	10,845	10,845
人員	人	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

ごみ分別アプリ保守委託経費の減等

事務事業名	310500 - 001 板橋かたつむり運動推進経費
-------	----------------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
講座、イベント等でのリサイクルに対する意識啓発は今後も継続実施していく必要がある。感染症拡大時等の啓発方法についても考え、工夫して、事業の実施をしていく。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
イベントでの啓発、小学校及び保育園・幼稚園での出前講座、リサイクル推進員の研修については、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、人数制限をすることなく、実施することができた。 令和6年4月からのプラスチックの資源回収に向けたハンドブックの発行、全戸配布を実施した。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満したか	70%~90%がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	講座の実施回数は計画通りの回数を実施できたが、そのうちの参加人数については、実施した小学校の児童数や保育園・幼稚園の園児数によるものであり、小規模園等も含まれる。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
ごみ減量、リサイクルに対する意識啓発は、循環型社会形成の基礎となるものである。とりわけ、小学校、幼稚園・保育園出前講座等を通じて、幼少期よりリサイクルに対する意識を根付かせることにより、「循環型社会実現への協働意識の醸成」に寄与するものである。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況	教育現場でのペーパーレス化にあわせ、小学校4年生向けの啓発冊子の電子化を行うなど、啓発にかかるコストを適宜見直している。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	講座やイベントは、リサイクルに対する意識醸成に寄与するものであり、継続実施していく必要がある。プラスチックの資源回収を開始したため、より効果的な啓発となるよう、内容の工夫を行う。		

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
講座、イベント等でのごみ減量・リサイクルに対する意識啓発は今後も継続して実施していく必要がある。手法、媒体等を含めて啓発方法については引き続き工夫していく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 001 食品廃棄物減量	
担当所属	資源循環推進課	担当者
関連所属		連絡先
		3579-2258

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	平成23年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区民、区内店舗 【手段】 講習会の実施、協力店の募集 【意図】 ごみの減量および食品ロスの削減 【成果】 生ごみのリサイクルおよび食品ロスの削減に関する普及啓発	【区民からの意見】 生ごみからたい肥講習会受講終了時における、家庭での実践希望者 (83%) 食品ロス対策関連講座受講終了時における、家庭での実践希望者 (100%)

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	
① 活動指標	生ごみからたい肥づくり講習会実施回数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	1.0
		達成率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0
② 活動指標	食品ロス対策関連講座実施回数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	100.0	1.0
		達成率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0
③ 成果指標	講習会参加者総数	人	74.0	73.0	80.0	64.0	80.0	90.0
		達成率 (%)	82.2	81.1	88.9	71.1		100.0
④ 成果指標	食べきり運動協力店舗数	店舗	37.0	22.0	100.0	27.0	27.0	100.0
		達成率 (%)	37.0	22.0	100.0	27.0		100.0
⑤ 成果指標	フードドライブ回収量	kg	1,538.7	4,766.3	5,000.0	6,332.5	126.7	6,500.0
		達成率 (%)	23.7	73.3	76.9	97.4		100.0

特記事項

コロナウイルス感染拡大防止により講習会が中止になったため、実績が減少した。
 生ごみ排出量 (区民 1人 1日あたり) は、平成27年度調査時の161.7g が最新の実績である。
 食べきり運動は令和元年度開始、フードドライブは令和2年度から地域センターに常設化した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	2,893	3,163	4,235	3,933	4,099	
事業費	千円	423	693	1,732	1,430	1,596	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	423	693	1,732	1,430	1,596
人件費	千円	2,470	2,470	2,503	2,503	2,503	
正職員	千円	2,470	2,470	2,503	2,503	2,503	
	人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	
	再任用等	千円	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	講習会参加 1人あたり	千円	39.09	43.33	52.94	61.45	45.54

フルコストの増減理由

フードシェアリングサービス (タバスケ) システム利用料の増等

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 002 環境美化啓発経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2258
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	エコポリス板橋クリーン条例				
計画事業番号		事業期間	平成10年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民及び事業者</p> <p>【手段】 平成10年度にエコポリス板橋クリーン条例を制定し、地球環境への配慮や環境美化などに取り組んでいる</p> <p>【意図】 迷惑喫煙行為を防止し、安全で快適な地球環境の形成を図る</p> <p>【成果】 これまで地域では実践・行動していくという意識が浸透してきており、少しずつではあるが、自主的な取り組みが増えてきている。 令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行され、人の賑わいもコロナ前に戻りつつあるなかで事業については計画どおり実施した。</p>	<p>【区民からの意見】 歩行喫煙や吸い殻のポイ捨てなど迷惑喫煙行為の防止を求める区民の声が多い。令和2年4月から改正健康増進法と東京都受動喫煙防止条例が全面施行され、路上での喫煙が増える傾向があることなどから、苦情が増加している。</p> <p>【他自治体との比較】 ポイ捨て防止、迷惑喫煙防止関連の条例は、都内23区全てで制定している 都内23区で過料を実際に科している区は、千代田区、品川区、大田区、渋谷区、杉並区、足立区（令和5年度）</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	キャンペーン開催回数	回	8.0	27.0	30.0	25.0	83.3	30.0	30.0
		達成率(%)	26.7	90.0	100.0	83.3		100.0	令和6年度
② 成果指標	路上禁煙地区内定点吸い殻月平均本数	本	626.2	589.5	950.0	647.6	68.1	950.0	950.0
		達成率(%)	65.9	62.0	100.0	68.1		100.0	令和6年度
③ 成果指標	歩きタバコ件数	件	8,904.0	8,668.0	10,000.0	8,135.0	81.4	10,000.0	10,000.0
		達成率(%)	89.0	86.7	100.0	81.4		100.0	令和6年度
④ 成果指標	クリーン作戦・ポイ捨て防止キャンペーン参加人数	人	0.0	16,675.0	20,000.0	18,388.0	91.9	20,000.0	20,000.0
		達成率(%)	0.0	83.4	100.0	91.9		100.0	令和6年度
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算
フルコスト	千円	41,969	42,018	67,677	54,529	62,250
事業費	千円	32,089	32,136	57,667	44,519	52,240
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	8,624	5,000
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	32,089	32,136	49,043	39,519
人件費	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

公衆喫煙所設置助成金等による増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 003 エコポリス板橋環境行動会議、エコポリス板橋地区環境行動委員会				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2258
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	エコポリス板橋環境行動会議設置要綱（平成13年9月17日区長決定） 各地区で策定する「エコポリス板橋〇〇地区環境行動委員会規約」エコポリス板橋地区環境行動委員会活動補助要綱				
計画事業番号		事業期間	平成13年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 環境活動を実践している団体の代表及び町会・自治会、青少年健全育成委員会、老人クラブ、商店、事業者、小・中PTAと各種団体及び個人</p> <p>【手段】 年2回会議を開催し、情報交換・連絡調整を行って統一的な活動の方針を定める。エコポリス板橋地区環境行動委員会を構成し、清掃、その他環境活動を行う。</p> <p>【意図】 住民による任意の環境活動が、組織的な連携を持つことにより活性化し、人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」が実現することを目的とする。</p> <p>【成果】 持続的な清掃活動は地道な活動だが、地域の関心が高まり、地域環境を保全していくための非常に重要な取り組みとなっている。また次代を担っていく小中学校等の若い世代への清掃活動の取り組みがまちづくりの大切さを学べる活動につながり、環境行動会議と各地区環境行動委員会が重要な役割を果たしている。</p>	<p>【開始時の周辺環境】 環境問題は行政主導ではなく、各地区の環境行動委員会主体で独自に活動してほしいという考えから平成13年11月に上記要綱が制定された。</p> <p>【他自治体との比較】 23区において、環境行動会議と類似の組織をつくり、環境美化や環境保全活動を行っている区は板橋区を含め6区である。</p> <p>【備考】 エコポリス板橋環境行動会議、エコポリス板橋地区環境行動委員会</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	環境行動会議	回	4.0	2.0	2.0	2.0	100.0	2.0	2.0
		達成率(%)	200.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 6年度
② 活動指標	区内統一行動開催数	回	4.0	4.0	4.0	4.0	100.0	4.0	4.0
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	令和 6年度
③ 活動指標	区内統一行動以外イベント数（補助対象団体）	回	69.0	79.0	178.0	95.0	53.4	178.0	178.0
		達成率(%)	38.8	44.4	100.0	53.4		100.0	令和 6年度
④ 成果指標	区内統一行動参加者数	人	2,228.0	16,715.0	21,000.0	18,434.0	87.8	21,000.0	21,000.0
		達成率(%)	10.6	79.6	100.0	87.8		100.0	令和 6年度
⑤									

特記事項

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	11,673	13,266	15,264	14,298	15,264	
事業費	千円	1,793	3,384	5,254	4,288	5,254	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,793	3,384	5,254	4,288	5,254
人件費	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	統一行動・イベント1回あたり	千円	159.90	159.83	83.87	144.42	83.87

フルコストの増減理由

地区環境行動委員会事業再開等による補助金の増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310500 - 004 プラスチックごみ再資源化推進経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218
関連所属	環境政策課 板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所 地域振興課				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」				
計画事業番号	021	事業期間	令和 3年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民 ・各事業者 <p>【手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民向け説明会や「資源とごみの分け方・出し方ハンドブック（旧かたつむりのおやくそくハンドブック）」全戸配布などの実施 ・収集運搬・中間処理・再商品化の各事業者との調整及び事業体制の構築 <p>【意図】</p> <p>プラスチック再資源化を図る</p> <p>【成果】</p> <p>プラスチックごみの分別収集の実施</p>	<p>【現状の周辺環境】</p> <p>国内におけるプラスチックごみの資源化の重要性が高まっている。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】</p> <p>全ての関係主体がプラスチックごみの資源循環促進等を図る。</p> <p>【区民意識意向調査】</p> <p>区民アンケート調査において、85.7%がプラスチックごみ問題に関心を示していた。</p> <p>【アンケート・統計調査】</p> <p>令和3年度に実施した排出実態調査によると区内で排出されるごみのうち、リサイクル可能なプラスチック類は17.6%であった。</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>【渋谷区】令和4年7月から全プラスチックごみの分別収集開始</p> <p>【豊島区】令和5年4月から一部区域で、令和5年10月から全区域で全プラスチック分別収集開始</p> <p>【北区】令和5年4月から全プラスチックごみの分別収集開始</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 活動指標	排出実態調査地区数	地区	6.0	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	令和 6年度
② 活動指標	モデル地区モニター調査世帯数	世帯	—	110.0	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	令和 6年度
③ 活動指標	区民アンケート調査世帯数	世帯	—	1,012.0	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	令和 6年度
④ 活動指標	区民説明会	回	—	—	54.0	61.0	113.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	令和 6年度
⑤ 活動指標	かたつむりのおやくそくハンドブック発行部数	部	—	—	359,000.0	359,000.0	100.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	令和 6年度

特記事項

令和5年度は全18地域センター管内において住民説明会を開催したほか、「資源とごみの分け方・出し方ハンドブック」の全戸配布を行う等、区民に広く周知を行った。また関係事業者と調整を行い、中間処理施設、再商品化方法を決定した。

【成果指標の進捗率の考え方】

20%（排出実態調査の実施）、40%（モデル地区モニター調査及び区民アンケートの実施）、60%（中間処理施設及び収集運搬方法の選定）、100%（事業化の決定）

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	12,358	15,044	156,397	80,287	0	
事業費	千円	4,125	6,809	146,387	70,277	0	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	5,123	5,118	0
	一般財源	千円	4,125	6,809	141,264	65,159	0
人件費	千円	8,233	8,235	10,010	10,010	0	
正職員	千円	8,233	8,235	10,010	10,010	0	
	人員	人	1.0	1.0	1.2	1.2	0.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

廃プラスチックの分別収集に向けた準備経費の増

事務事業名	310500 - 004	プラスチックごみ再資源化推進経費
-------	--------------	------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
プラスチックごみ再資源化事業の実施に向けて、区民への理解と協力が得られるPR活動を行うとともに、収集運搬・中間処理・再商品化を行う各事業者と調整を行い、事業体制を構築することが重要である。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
住民説明会やハンドブック全戸配布のほか、SNSなどを活用し周知活動を実施した。また関係事業者と調整を行い、収集運搬方法や中間処理施設、再商品化方法を決定した。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	-		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
プラスチックごみの分別収集を実施することでプラスチックごみの削減及び再資源化につながり、中間アウトカムの「リサイクル率の上昇」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
プラスチックごみの分別収集実施に向けた区民に対する周知費用等、最小のコストで最大の効果が出るよう見直しを行った。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト削減/活動・成果指標の維持		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
コストを意識しつつ、引き続き区民周知を徹底し、プラスチックごみの減量及び再資源化することで、リサイクル率の上昇を目指す。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
リサイクル率の向上を目指し、区民からプラスチックごみの再資源化に理解と協力が得られるように、今後も周知を行っていく。また収集運搬・中間処理・再商品化を行う各事業者と調整を行い、来年度以降の事業体制を改善していく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 005 ふれあい指導		
担当所属	資源循環推進課	担当者	-
連絡先	3579-2218, 3579-2258		
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制」「再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内の集積所の利用者または管理者</p> <p>【手段】 区民、事業者に対し対話を中心とするきめ細かな「ふれあい」を重視した方法で、手数料制度の徹底やごみの分別、排出指導等を行う</p> <p>防鳥用ネットの貸出・使用済み注射針回収容器の薬剤師会への提供</p> <p>【意図】 ごみの減量化やリサイクル促進を目指す カラス等による被害を防ぎ、集積所の美化を図る 区民や収集員の針刺し事故防止</p> <p>【成果】 平成21年度以降、収集員の針刺し事故は発生していない</p>	<p>【現状の周辺環境】 小規模な宅地開発などによる集積所の分散・戸別化や集積所の細分化に伴い、防鳥用ネットのサイズの多様化への対応などが求められている。高齢化による要医療患者の増加・病床不足による在宅医療に向けた様々な取り組みの中で、在宅自己注射患者数も増加、針刺し事故防止のため、使用済み注射針の適正な回収・処理が求められている。使用済み注射針回収容器については、区民と作業員の安全確保を図るため、板橋区薬剤師会に対する回収支援事業として、平成20年度より回収専用容器を板橋区が購入し、提供している。</p> <p>【他自治体との比較】 薬剤師会での使用済み注射針回収事業は全区で行っているが、薬剤師会に対し何等かの補助を実施している区は21区である。補助形態は容器現物支給・収集運搬費補助・処分費用補助・保管場所の賃借料補助等である。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	回収箇所数(集積所・拠点・店頭)	箇所	24,000.0	24,500.0	25,300.0	25,300.0	100.0	25,600.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	防鳥用ネットの配布件数	件	2,275.0	2,179.0	2,300.0	2,093.0	91.0	2,300.0	2,300.0
		達成率(%)	98.9	94.7	100.0	91.0	—	100.0	令和6年度
③ 活動指標	排出指導用警告シール使用枚数	枚	60,000.0	70,000.0	80,000.0	74,000.0	92.5	70,000.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	指導班による排出指導件数	件	5,937.0	8,982.0	—	7,780.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	使用済み注射針回収容器購入数	個	11,040.0	11,040.0	10,040.0	10,040.0	100.0	13,640.0	13,640.0
		達成率(%)	80.9	80.9	73.6	73.6	—	100.0	令和6年度
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	307,125	307,391	311,234	309,956	311,785	
事業費	千円	8,593	8,823	8,802	7,524	9,353	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	627	373	623	576	620
	一般財源	千円	7,966	8,450	8,179	6,948	8,733
人件費	千円	298,532	298,568	302,432	302,432	302,432	
正職員	千円	297,211	297,284	301,146	301,146	301,146	
	人員	人	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1
	再任用等	千円	1,321	1,284	1,286	1,286	1,286
	人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	集積所1か所あたり	千円	12.80	12.55	12.30	12.25	12.18
フルコストの増減理由							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 005 大規模建築物排出指導				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 用途に限らず3000㎡の建築物・事業用途に供する部分の床面積の合計1000㎡以上の建築物</p> <p>【手段】 完了検査・立入指導・廃棄物管理責任者講習会・事業系ごみハンドブックの作成・配布</p> <p>【意図】 廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理</p> <p>【成果】 廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理</p>	<p>【現状の周辺環境】 事業用大規模建築物の件数は横ばいで推移している。</p> <p>【アンケート・統計調査】 事業用大規模建築物に再利用対象物の再利用率は80%以上で推移している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 対象指標	事業用大規模建築物数	箇所	702.0	712.0	—	715.0	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	事業用大規模建築物立入検査	件	216.0	152.0	—	178.0	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	事業用大規模建築物保管場所完了検査	件	7.0	13.0	—	8.0	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	廃棄物管理責任者講習会	回	2.0	2.0	2.0	2.0	100.0	2.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	事業系ごみ(持込ごみ)の排出量	t	28,973.0	30,588.0	29,850.0	28,841.0	96.6	32,296.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—

特記事項

令和5年度の「事業系ごみ(持込ごみ)の排出量」については、令和6年9月ごろに数値が確定する予定。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	4,401	4,432	4,462	4,462	0	
事業費	千円	284	314	291	291	0	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	284	314	291	291	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0
人件費	千円	4,117	4,118	4,171	4,171	0	
正職員	千円	4,117	4,118	4,171	4,171	0	
	人員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	—	千円	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 006 浄化槽指導経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「浄化槽法」「板橋区浄化槽指導要綱」「東京都板橋区浄化槽法施行規則」「板橋区下水道未普及地域設置浄化槽汚泥収集運搬に関する要綱及び同要領」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公共下水道に直接接続できない場所に設置されている浄化槽を使用している区民に対し、浄化槽清掃時に排出される汚泥の収集運搬を区が行う。(対象浄化槽11基)</p> <p>【手段】 対象区民に認定書を発行する。対象区民が認定書取扱浄化槽清掃業者名簿に記載されている浄化槽清掃業者と清掃契約を結ぶのと並行して区が業者と汚泥の収集運搬委託契約を結び、その経費を業者に支払う。</p> <p>【意図】 浄化槽の適正管理</p> <p>【成果】 浄化槽の適正管理</p>	<p>【現状の周辺環境】 対象地域は現在も公共下水道未告示地域である。公共下水道の整備を行うに当たり土地境界確定協議を行ったが、全土地所有者からの合意が得られず、私道と公共用地の交換ができなかったため、公共下水道の整備を行うことができなかった。</p> <p>【区民からの意見】 浄化槽管理者である住民は浄化槽を撤去したいとの意向を持っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	浄化槽汚泥収集運搬	件	10.0	10.0	11.0	10.0	90.9	11.0	令和 6年度
		達成率(%)	90.9	90.9	100.0	90.9		100.0	
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	1,738	1,738	1,767	1,759	1,767	
事業費	千円	91	91	99	91	99	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	91	91	99	91	99
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0
人件費	千円	1,647	1,647	1,668	1,668	1,668	
正職員	千円	1,647	1,647	1,668	1,668	1,668	
	人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	対象浄化槽一基あたり	千円	173.80	173.80	160.64	175.90	160.64
フルコストの増減理由							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 007 集団回収				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2258
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「区資源の集団回収事業に係る支援要綱」		
計画事業番号		事業期間	平成 4年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 資源となる古紙・古布・アルミ缶などを集めて回収業者へ引渡す自主的活動をする区民10世帯以上からなる団体とその回収業者</p> <p>【手段】 団体へ資源回収量によつての報奨金と活動助成金の支給、活動に必要な資機材(回収旗等)の貸与、回収業者へ報奨金の支給</p> <p>【意図】 資源の保護とごみ減量。身近なりサイクル活動を通じた地域コミュニティの醸成</p> <p>【成果】 ごみの減量。資源リサイクル向上。区による資源回収のコスト削減。</p>	<p>【現状の周辺環境】 古紙相場は全盛期と比べて低迷しているが、令和4年度の後半から少しずつではあるが、回復してきている。</p> <p>【他自治体との比較】 集団回収は23区全てで実施している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値		
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度	
①	活動指標	登録団体数	団体	900.0	893.0	890.0	896.0	100.7	890.0	890.0
			達成率(%)	101.1	100.3	100.0	100.7		100.0	
②	活動指標	実施団体数	団体	892.0	867.0	870.0	873.0	100.3	873.0	873.0
			達成率(%)	102.5	99.7	100.0	100.3		100.3	
③	活動指標	回収量	t	11,867.0	10,855.0	10,855.0	10,429.0	96.1	10,429.0	10,429.0
			達成率(%)	113.8	104.1	104.1	100.0		100.0	
④										
⑤										
特記事項										

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	103,593	91,441	111,159	92,286	97,279	
事業費	千円	94,537	82,382	101,983	83,110	88,103	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	5,000	2,500	0
	一般財源	千円	94,537	82,382	96,983	80,610	88,103
人件費	千円	9,056	9,059	9,176	9,176	9,176	
正職員	千円	9,056	9,059	9,176	9,176	9,176	
	人員	人	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	実施1団体あたり	千円	116.14	105.47	127.77	105.71	111.43
フルコストの増減理由							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 008 東清掃事務所維持管理経費				
担当所属	板橋東清掃事務所	担当者	-	連絡先	3969-3721
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 事務所の維持管理、各種システム機器の管理</p> <p>【手段】 保守点検委託、光熱水費支払、施設改修、消耗品の調達</p> <p>【意図】 清掃事務所の業務を滞りなく行う</p> <p>【成果】 清掃事務所が支障なく機能することにより、円滑な区民サービスを提供できる</p>	<p>【開始時の周辺環境】 開設 昭和48年7月</p> <p>【現状の周辺環境】 建物の老朽化が激しいため、修繕・工事を今後も継続して行う必要がある。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	施設修繕・改修件数	件	6.0	6.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
② 活動指標	保守点検委託数	件	10.0	12.0	10.0	10.0	100.0	10.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	42,084	87,893	50,131	47,720	56,645	
事業費	千円	26,042	69,262	31,393	28,982	37,907	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	71	73	71	67	67
	その他	千円	1,944	2,071	1,944	2,901	4,089
	一般財源	千円	24,027	67,118	29,378	26,014	33,751
人件費	千円	8,233	8,235	8,342	8,342	8,342	
正職員	千円	8,233	8,235	8,342	8,342	8,342	
	人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	7,809	10,396	10,396	10,396	10,396	
減価償却費	千円	7,809	10,396	10,396	10,396	10,396	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

建物老朽化による修繕等（工事請負費・委託料）の増減によるが、令和6年度は、EV車充電設備設置工事による増。また、引き続き光熱水費（電気料）の値上げにより増加もみられる。

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 009 西清掃事務所維持管理経費				
担当所属	板橋西清掃事務所	担当者	-	連絡先	3936-7441
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 西清掃事務所の維持管理、各種システム機器等の管理 【手段】 保守点検委託、光熱水費支払、施設改修、消耗品の調達 【意図】 西清掃事務所の業務を滞りなく行う 【成果】 西清掃事務所が支障なく機能することにより、円滑な区民サービスを提供できる	【現状の周辺環境】 建物の老朽化が激しいため、施設改修や設備更新の必要性が高くなっている

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	保守点検委託数	件	11.0	11.0	12.0	12.0	100.0	11.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0		0.0	—
② 活動指標	施設修繕・改修件数	件	8.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	25,857	52,665	30,534	28,991	30,806	
事業費	千円	15,466	42,272	20,055	18,512	20,327	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	50	50	50	47	47
	その他	千円	1,834	1,411	1,339	1,401	1,389
	一般財源	千円	13,582	40,811	18,666	17,064	18,891
人件費	千円	6,586	6,588	6,674	6,674	6,674	
正職員	千円	6,586	6,588	6,674	6,674	6,674	
	人員	人	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	3,805	3,805	3,805	3,805	3,805	
減価償却費	千円	3,805	3,805	3,805	3,805	3,805	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

令和元年度から令和2年度について、浴室改修工事による工事請負費の経費増
 令和3年度から令和4年度について、受変電設備改修工事による工事請負費の経費増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 010 志村清掃事業所維持管理経費				
担当所属	板橋東清掃事務所	担当者	-	連絡先	3969-3721
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 清掃事業所の維持管理 【手段】 保守点検委託、光熱水費支払、施設改修、消耗品の調達 【意図】 清掃事業所の業務を滞りなく行う 【成果】 清掃事業所が支障なく機能することにより、円滑な区民サービスを提供できる	【開始時の周辺環境】 開設 昭和37年7月 【現状の周辺環境】 建物の老朽化が激しいため、修繕・工事を今後も継続して行う必要がある。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	施設修繕・改修件数	件	4.0	7.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
② 活動指標	保守点検委託数	件	15.0	14.0	14.0	14.0	100.0	14.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	50,998	36,636	37,058	36,975	37,804	
事業費	千円	34,643	20,278	20,540	20,457	21,286	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	17,352	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	98	441	443	450	451
	その他	千円	1,158	1,200	1,158	1,177	1,167
	一般財源	千円	16,035	18,637	18,939	18,830	19,668
人件費	千円	12,350	12,353	12,513	12,513	12,513	
正職員	千円	12,350	12,353	12,513	12,513	12,513	
	人員	人	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	4,005	4,005	4,005	4,005	4,005	
減価償却費	千円	4,005	4,005	4,005	4,005	4,005	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

建物老朽化による修繕等(工事請負費)の増減によるが、令和3年度は、工業用水切替工事負担金による増があったもの。令和4年度は車両洗車用高圧洗浄機設置による増。

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310500 - 011 中継所維持管理経費				
担当所属	板橋西清掃事務所	担当者	-	連絡先	3936-7441
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 西台中継所（西台粗大ごみセンター）の維持管理等</p> <p>【手段】 保守点検委託、光熱水費支払、施設改修、消耗品の調達</p> <p>【意図】 西台中継所の業務を滞りなく行う</p> <p>【成果】 西台中継所が支障なく機能することにより、円滑な区民サービスを提供できる</p>	<p>【現状の周辺環境】 施設・設備の老朽化が激しいため、施設改修や設備更新の必要性が高くなっている</p> <p>【備考】 昭和56年10月 不燃ごみ中継所として開設 平成14年3月末 不燃ごみ中継所を廃止 平成14年7月~ 粗大ごみ中継所</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度			令和6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	保守点検委託数	件	8.0	9.0	9.0	9.0	100.0	9.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
② 活動指標	施設修繕・改修件数	件	3.0	4.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	14,372	14,743	15,794	15,284	14,993	
事業費	千円	10,721	11,091	12,099	11,589	11,298	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	430	430	430	430	430
	一般財源	千円	10,291	10,661	11,669	11,159	10,868
人件費	千円	3,293	3,294	3,337	3,337	3,337	
正職員	千円	3,293	3,294	3,337	3,337	3,337	
	人員	人	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	358	358	358	358	358	
減価償却費	千円	358	358	358	358	358	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

平成30年度から令和元年度について、需用費（消耗品費）及び、工事請負費の経費増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 012 リサイクルプラザ運営経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2258
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「板橋区立リサイクルプラザ条例」				
計画事業番号		事業期間	平成17年度 ~	施設種別	環境関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 リサイクルやごみ問題などに興味・関心がある方</p> <p>【手段】 環境学習講座やリサイクル関連のイベントや展示を実施</p> <p>【意図】 区民意識の啓発並びに知識・経験の普及</p> <p>【成果】 資源循環型社会の構築</p>	<p>【アンケート・統計調査】 様々なイベントに関して満足割合が多い一方、交通の不便を指摘する声が多い。</p> <p>【他自治体との比較】 練馬区の「リサイクルセンター」が、同じく指定管理者制度によって運営している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	来館者数 (単年度)	人	22,698.0	24,784.0	29,000.0	26,342.0	90.8	30,000.0	30,000.0 令和 6年度
		達成率(%)	75.7	82.6	96.7	87.8		100.0	
② 活動指標	講座実施回数 (単年度)	回	91.0	92.0	119.0	94.0	79.0	122.0	122.0 令和 6年度
		達成率(%)	74.6	75.4	97.5	77.0		100.0	
③ 成果指標	講座参加人数 (単年度)	人	4,474.0	3,692.0	2,610.0	4,162.0	159.5	2,870.0	2,730.0 令和 6年度
		達成率(%)	163.9	135.2	95.6	152.5		105.1	
④ 成果指標	施設利用満足度 (単年度)	%	97.0	94.0	93.0	91.0	97.8	93.0	93.0 令和 6年度
		達成率(%)	104.3	101.1	100.0	97.8		100.0	
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	64,775	65,096	65,326	65,292	65,687	
事業費	千円	24,294	24,613	24,769	24,735	25,130	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	317	317	317	289	289
	一般財源	千円	23,977	24,296	24,452	24,446	24,841
人件費	千円	5,763	5,765	5,839	5,839	5,839	
正職員	千円	5,763	5,765	5,839	5,839	5,839	
	人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	34,718	34,718	34,718	34,718	34,718	
減価償却費	千円	34,718	34,718	34,718	34,718	34,718	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来館者 1人あたり	千円	2.85	2.63	2.25	2.48	2.19
フルコストの増減理由							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 013 安全衛生管理経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「労働安全衛生法」「東京都板橋区清掃事業場労働安全衛生保護具措置規程」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 主に清掃技能系職員（技能Ⅴ、Ⅵ）</p> <p>【手段】 定期的に保護具を、夏場に熱中症対策用品を、冬場に滑り止めなど支給</p> <p>【意図】 清掃技能系職員の安全作業を確保するため</p> <p>【成果】 安全衛生の確保、熱中症予防など</p>	<p>【現状の周辺環境】 社会状況の変化により、保護具単価が毎年値上がりしている。</p> <p>【他自治体との比較】 他区も同種の趣旨のもと、同程度の保護具や物品等を適度に支給している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	清掃技能系職員数（再任用含む）	人	185.0	182.0	180.0	180.0	100.0	178.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	34,897	34,811	35,222	35,456	36,241
事業費	千円	9,375	9,282	9,362	9,596	10,381
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,375	9,282	9,362	9,596
人件費	千円	25,522	25,529	25,860	25,860	25,860
正職員	千円	25,522	25,529	25,860	25,860	25,860
	人員	人	3.1	3.1	3.1	3.1
	再任用等	千円	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	職員一人あたり 千円	188.63	191.27	195.68	196.98	203.60
フルコストの増減理由						

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 014 事務諸経費 (収集総務)				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <p>①清掃職員 (① : 清掃被服の貸与、収集作業の運営や事務処理に要する経費)、②ごみ処理券業務に携わる職員 (② : ごみ処理券管理システムの運用に係る経費)</p> <p>【手段】</p> <p>①収集作業時に着用する被服を貸与、収集作業に必要な消耗品等の購入やリース、処理困難物や不法投棄された物品の処理、作業服のクリーニング等の実施、②ごみ処理券の発注から収納管理に至るまでシステムにより管理</p> <p>【意図】</p> <p>①収集作業時の安全を確保するため、収集作業の円滑な実施及び適正な処理、②効率的な事務作業を実現</p> <p>【成果】</p> <p>①収集作業の効率化、安全性の向上、②人件費の抑制</p>	<p>【現状の周辺環境】</p> <p>近年、外国人のアルバイトも増加傾向にあり、幅広いサイズの被服を揃える必要がある。</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>ごみ処理券管理システムは23区共通のシステムであり、システム保守委託契約については、23区清掃リサイクル主管課長会の分科会である有料シール検討会において、契約に関する業者との折衝を行っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標年度
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	
①		達成率 (%)							
②		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	29,925	29,909	37,599	34,639	46,642
事業費	千円	19,222	19,203	26,754	23,794	35,797
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	19,222	19,203	26,754	23,794	35,797
人件費	千円	10,703	10,706	10,845	10,845	10,845
正職員	千円	10,703	10,706	10,845	10,845	10,845
人員	人	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

清掃職員貸与被服数量増等による増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 015 車両雇上				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区内の家庭ごみ 【手段】 ごみを収集し、中間処理施設に搬送するための車両を雇い上げる 【意図】 収集作業の注力による迅速で効率的な業務の推進 【成果】 適切かつ効果的に収集作業を行うことができる	【現状の周辺環境】 正規職員の減員により雇上会社の稼働割合が増加している。年末等繁忙期における雇上会社としての人手不足などにより、車両の確保に苦慮している。 【他自治体との比較】 東京二十三区清掃協議会規約第3条第1項の規定に基づき板橋区長名で東京二十三区清掃協議会が雇上会社と契約している。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	雇上車稼働実績 (計)	延台数	24,935.0	24,641.0	25,567.0	24,805.0	97.0	25,342.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	2,385,453	2,392,163	2,500,912	2,488,495	2,542,363	
事業費	千円	1,451,007	1,457,490	1,554,095	1,541,678	1,595,546	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,451,007	1,457,490	1,554,095	1,541,678	1,595,546
人件費	千円	934,446	934,673	946,817	946,817	946,817	
正職員	千円	934,446	934,673	946,817	946,817	946,817	
	人員	人	113.5	113.5	113.5	113.5	113.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1台あたり 千円	95.67	97.08	97.82	100.32	100.32	
フルコストの増減理由							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 016 車両更新・維持				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

<p>事業概要</p> <p>【対象】 直営車両</p> <p>【手段】 収集・指導等のため、車両をリースし業務を行う</p> <p>直営車両の任意保険料</p> <p>【意図】 収集・指導等に使用する車両の維持にかかる経費 任意保険の加入については、車両による事故は特別区自治体総合賠償責任保険の補償対象外であることから加入</p> <p>【成果】 効率的な収集・指導業務を行うことが出来る 迅速な補償及び清掃車両の迅速な現状復帰</p>	<p>環境変化・備考</p> <p>【現状の周辺環境】 車両による事故は特別区自治体総合賠償責任保険の補償対象外であることから、迅速な補償及び清掃車両の迅速な現状復帰を目的として、任意保険に加入している。加入にあたっては保険料の見積金額と補償の限度額を比較し、契約している。</p>
---	--

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	直営車保有台数(計)	台	47.0	46.0	46.0	47.0	102.2	49.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	296,102	295,774	304,792	302,611	310,167	
事業費	千円	58,721	58,443	64,428	62,247	69,803	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	58,721	58,443	64,428	62,247	69,803
人件費	千円	237,381	237,331	240,364	240,364	240,364	
正職員	千円	232,994	233,051	236,079	236,079	236,079	
	人員	人	28.3	28.3	28.3	28.3	28.3
	再任用等	千円	4,387	4,280	4,285	4,285	4,285
	人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
	人員	人	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	1台あたり 千円	6,300.04	6,429.87	6,625.91	6,438.53	6,329.94	
フルコストの増減理由							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 017 中継所作業運営				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属	板橋西清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内全域で排出される粗大ごみ</p> <p>【手段】 粗大ごみの収集・運搬、中継業務の委託等</p> <p>【意図】 粗大ごみ収集・運搬、中継業務を効率的に行う。</p> <p>【成果】 区内全域の粗大ごみを、日曜日も含めて毎日（年末年始を除く）収集することができる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 粗大ごみの回収量及び収集個数は減少傾向である。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 活動指標	粗大ごみ収集個数	個	611,618.0	605,085.0	—	589,312.0	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	粗大ごみ回収量	t	4,694.0	4,630.0	4,489.0	4,570.0	101.8	4,458.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
③		達成率(%)						
④		達成率(%)						
⑤		達成率(%)						
特記事項								

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	350,654	374,340	380,545	379,797	387,006	
事業費	千円	342,421	366,105	372,203	371,455	378,664	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	342,421	366,105	372,203	371,455	378,664
人件費	千円	8,233	8,235	8,342	8,342	8,342	
正職員	千円	8,233	8,235	8,342	8,342	8,342	
	人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 t あたり	千円	74.70	80.85	84.77	83.11	86.81
フルコストの増減理由							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 古紙回収	
担当所属	資源循環推進課	担当者
関連所属		連絡先
		3579-2218

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 集積所から回収した古紙を中間処理施設へ運搬し、処理した後、売却して資源の有効活用を行う。また、資源持ち去り行為者に対して委託業者による早朝パトロールを行う。</p> <p>【意図】 可燃ごみに含まれる紙ごみをできるだけ減らし、資源化する。また、売却で得た収入は区の歳入とする。</p> <p>【成果】 持ち去り行為を抑制することができ、資源物の適切な回収及びリサイクルができる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 古紙の持ち去り行為に対する罰則を条例に規定している。また、可燃ごみに含まれる紙ごみを出来るだけ減らし、資源化できるよう雑がみの回収を実施している。</p> <p>【区民からの意見】 古紙として出せる紙の範囲の問い合わせがある。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	回収箇所数(集積所・拠点・店頭)	箇所	24,000.0	24,500.0	25,300.0	25,300.0	100.0	25,600.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
② 活動指標	資源回収量(集積所・拠点・店頭)	t	14,103.3	13,833.4	14,318.6	13,513.9	94.4	19,104.0	19,104.0
		達成率(%)	73.8	72.4	75.0	70.7		100.0	令和 6年度
③ 活動指標	資源回収量(古紙)	t	5,374.6	5,407.4	5,580.0	5,277.9	94.7	5,312.0	5,312.0
		達成率(%)	101.2	101.8	105.0	99.5		100.0	令和 6年度
④									
⑤									

特記事項

宅配やネット通販等の利用増により段ボールの排出量が大幅に増加しているが、新聞・雑誌の発行部数の減少、書籍の電子化等の影響を受け、全体として古紙の回収量は減少傾向となっている。②の活動指標は、令和5年度までは古紙・びん・缶・ペットボトル・トレイ・ボトル回収量の合計値、令和6年度からはトレイ・ボトル回収に代わりプラスチック回収量が加わった合計値となっている。③の活動指標は古紙のみの数値である。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	197,944	212,304	218,789	215,316	221,906	
事業費	千円	187,624	201,994	208,350	204,877	213,135	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	27,336	32,680	42,047	34,543	33,868
	一般財源	千円	160,288	169,314	166,303	170,334	179,267
人件費	千円	10,320	10,310	10,439	10,439	8,771	
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	8,342	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.0
	再任用等	千円	440	428	429	429	429
	人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 tあたり	千円	36.83	39.26	39.21	40.75	41.77

フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 ペットボトル回収				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成 9年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 集積所から回収したペットボトルを中間処理施設へ運搬し、処理した後、売却して資源の有効活用を行う。</p> <p>【意図】 可燃ごみに含まれるペットボトルをできるだけ減らし、資源化する。また、売却で得た収入は区の歳入とする。</p> <p>【成果】 資源としてリサイクルすることで、可燃ごみの割合が減っている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 飲料用容器としてペットボトルの普及が急速に進み、その回収、廃棄が問題となったため、平成9年より東京都においてコンビニなどの店等回収を開始し、清掃事業の区移管後、各区において集積所での回収が開始され、板橋区においても平成19年度より区内全域での集積所回収が開始された。</p> <p>ペットボトル回収用のネット・コンテナを準備している。</p> <p>【区民からの意見】 ラベルやキャップの処理方法を聞かれる。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	回収箇所数(集積所・拠点・店頭)	箇所	24,000.0	24,500.0	25,300.0	25,300.0	100.0	25,600.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
② 活動指標	資源回収量(集積所・拠点・店頭)	t	2,562.8	2,568.2	2,718.0	2,631.9	96.8	2,566.0	2,566.0
		達成率(%)	99.9	100.1	105.9	102.6		100.0	令和 6年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

飲料や調味料等のペットボトル化により量は増えているが、ペットボトルの軽量化が進んでいる。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	352,745	354,967	358,855	354,355	359,306	
事業費	千円	341,984	344,229	347,988	343,488	348,439	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	124,282	276,247	236,675	167,802	120,090
	一般財源	千円	217,702	67,982	111,313	175,686	228,349
人件費	千円	10,761	10,738	10,867	10,867	10,867	
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等	千円	881	856	857	857	857
	人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 t あたり	千円	137.68	138.23	132.03	134.68	140.03

フルコストの増減理由

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 びん・缶回収				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 集積所から回収したびん・缶を中間処理施設へ運搬し、処理した後、売却して資源の有効活用を行う。</p> <p>【意図】 不燃ごみに含まれるびん・缶をできるだけ減らし、資源化する。また、売却で得た収入は区の歳入とする。</p> <p>【成果】 資源としてリサイクルすることで、不燃ごみの割合が減っている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 アルミ缶・スチール缶とも買取相場の変動が大きく、年度により歳入に差が出てしまう。びん・缶回収用のコンテナをそれぞれ準備している。</p> <p>【区民からの意見】 排出できるびん・缶の種類を聞かれる。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	回収箇所数(集積所・拠点・店頭)	箇所	24,000.0	24,500.0	25,300.0	25,300.0	100.0	25,600.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
② 活動指標	資源回収量(集積所・拠点・店頭)	t	6,145.2	5,837.8	6,000.0	5,583.6	93.1	5,700.0	5,700.0
		達成率(%)	107.8	102.4	105.3	98.0		100.0	令和 6年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

飲料や調味料等がびん・缶からペットボトルに移ってきているため減少傾向にある。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	327,335	344,713	360,329	348,144	359,731	
事業費	千円	316,574	333,975	349,462	337,277	348,864	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	269,511	307,152	298,800	271,540	262,866
	一般財源	千円	47,063	26,823	50,662	65,737	85,998
人件費	千円	10,761	10,738	10,867	10,867	10,867	
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等	千円	881	856	857	857	857
	人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 t あたり	千円	53.27	59.06	60.05	62.36	63.11

フルコストの増減理由

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 トレイ・ボトル回収	
担当所属	資源循環推進課	担当者 -
連絡先	3579-2218	
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号	事業期間	平成28年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 集積所から回収した食品用トレイ・ボトル容器を中間処理施設へ運搬し、処理した後、資源の有効活用を行う。</p> <p>【意図】 可燃ごみに含まれる食品用トレイ・ボトル容器をできるだけ減らし、資源化する。</p> <p>【成果】 資源としてリサイクルすることで、可燃ごみの割合が減っている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 一部の大規模マンション、集積所でモデル回収をしている</p> <p>【区民からの意見】 分別方法の問い合わせがある</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 対象指標	回収箇所数(集積所・拠点・店頭)	箇所	220.0	220.0	220.0	220.0	100.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	資源回収量(集積所・拠点・店頭)	t	20.5	19.8	20.6	20.3	99.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
③		達成率(%)						
④		達成率(%)						
⑤		達成率(%)						

特記事項

モデルにおけるトレイ・ボトル回収は令和5年度をもって終了し、令和6年度より区内全域でのプラスチック回収となった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	27,917	28,226	29,280	28,813	0	
事業費	千円	17,597	17,916	18,841	18,374	0	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	17,597	17,916	18,841	18,374	0
人件費	千円	10,320	10,310	10,439	10,439	0	
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	0	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	0.0	
	再任用等	千円	440	428	429	429	0
	人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 tあたり	千円	1,395.85	1,485.58	1,464	1,440.65	—

フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 使用済小型電子機器等回収				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218, 2258
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」		
計画事業番号		事業期間	平成26年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 拠点回収、イベント回収、ピックアップ回収</p> <p>【意図】 使用済小型家電に含まれる有用金属のリサイクル</p> <p>【成果】 リサイクルにより、資源循環型社会の構築に寄与する</p>	<p>【現状の周辺環境】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルを、使用済小型家電のリサイクル材により製作するプロジェクトが、同競技大会組織委員会により、平成29年4月から平成31年3月まで開催され、板橋区もプロジェクトへ参加していた。</p> <p>【他自治体との比較】 23区においては、ほとんどの区が板橋区と同様に、3つの回収方法（拠点・イベント・ピックアップ）により回収を実施している。なお、板橋区は区民1人当たりの回収量が23区で上位である。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	回収ボックス設置数	台	13.0	13.0	13.0	13.0	100.0	13.0	令和 6年度
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	
② 活動指標	回収量（拠点回収・イベント回収）	t	6.6	6.4	6.4	7.6	118.2	7.6	令和 6年度
		達成率(%)	87.1	85.4	84.8	100.3		100.0	
③ 活動指標	回収量（ピックアップ回収）	t	501.7	432.5	432.5	423.4	97.9	423.4	令和 6年度
		達成率(%)	118.5	102.1	102.1	100.0		100.0	
④									
⑤									

特記事項

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	27,290	25,317	25,735	24,742	25,910	
事業費	千円	24,820	22,847	23,232	22,239	23,407	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	504	453	503	503	399
	一般財源	千円	24,316	22,394	22,729	21,736	23,008
人件費	千円	2,470	2,470	2,503	2,503	2,503	
正職員	千円	2,470	2,470	2,503	2,503	2,503	
	人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 t あたり	千円	53.72	57.80	58.76	57.41	60.12

フルコストの増減理由

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 拠点回収				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」				
計画事業番号		事業期間	平成 3年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 ・区内14箇所の施設における廃食用油・古布・古着の回収 ・区内約300箇所における紙パック、乾電池、食品用トレイ、ボトル容器（プラスチック製）の回収</p> <p>【意図】 再生可能な資源のリサイクル</p> <p>【成果】 資源循環型社会の構築</p>	<p>【現状の周辺環境】 28年度よりトレイ・ボトル容器のマンション・集積所でのモデル回収を開始したことにより、トレイ・ボトルの回収量が微減傾向にある。</p> <p>【区民からの意見】 回収容器に入れていいものか否かの問い合わせが多い。（ボタン電池・毛布など）</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	廃食用油・古布 回収施設数	箇所	13.0	14.0	14.0	14.0	100.0	14.0	令和 6年度
			達成率(%)	92.9	100.0	100.0	100.0	100.0	
② 活動指標	廃食用油 回収量	t	4.6	5.5	4.8	5.5	116.4	5.0	令和 6年度
			達成率(%)	86.8	105.1	90.6	105.5	94.3	
③ 活動指標	古布・古着 回収量	t	119.1	125.6	104.0	139.1	133.8	145.0	令和 6年度
			達成率(%)	82.2	86.6	71.7	96.0	100.0	
④ 活動指標	紙パック、乾電池、長品用トレイ、ボトル容器回収施設数	箇所	665.0	653.0	653.0	648.0	99.2	—	—
			達成率(%)	—	—	—	—	—	
⑤ 活動指標	紙パック、乾電池、長品用トレイ、ボトル容器回収量	t	114.6	107.3	111.5	101.5	91.0	—	—
			達成率(%)	—	—	—	—	—	

特記事項

古布・古着、廃食用油ともに回収量が達成率（対計画値）を大きく超える数値となった。
（古布・古着 133.8%、廃食用油 116.4%）
紙パック、乾電池、食品用トレイ、ボトルについては令和7年3月31日で回収終了となる。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	43,023	43,226	45,520	44,273	43,118	
事業費	千円	32,703	32,916	35,081	33,834	32,679	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	647	2,283	1,884	5,435	6,718
	一般財源	千円	32,056	30,633	33,197	28,399	25,961
人件費	千円	10,320	10,310	10,439	10,439	10,439	
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等	千円	440	428	429	429	429
	人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 t (拠点回収総量) あたり	千円	180.77	181.62	206.91	179.97	287.45

フルコストの増減理由

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 018 不燃ごみ資源化				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」				
計画事業番号		事業期間	平成28年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 集積所等に排出された不燃ごみ</p> <p>【手段】 資源化施設に運搬し、手選別により資源化適合物、資源化不適合物に選別し、資源化適合物を資源化する</p> <p>【意図】 不燃ごみ全量の資源化</p> <p>【成果】 埋立処分場の延命化及びリサイクル率向上を図る</p>	<p>【現状の周辺環境】 不燃ごみの収集量について、令和5年度は昨年度比較約5%の減量となった。 なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で増量となった。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 今後も資源化率100%を維持できる見込みである。</p> <p>【他自治体との比較】 【練馬区】令和4年4月より不燃ごみ資源化事業を開始</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	不燃ごみの収集量	t	2,976.7	2,634.3	2,314.0	2,512.9	108.6	2,331.0	令和 6年度
		達成率(%)	127.7	113.0	99.3	107.8		100.0	
② 活動指標	資源化施設に搬入した不燃ごみ量	t	2,976.7	2,634.3	2,709.0	2,512.9	92.8	2,653.0	令和 6年度
		達成率(%)	109.9	97.2	100.0	92.8		97.9	
③ 活動指標	資源化施設に搬入した不燃ごみの割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	令和 6年度
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	
④ 活動指標	資源化施設に搬入した不燃ごみの資源化量	t	2,976.7	2,634.3	2,709.0	2,512.9	92.8	2,653.0	令和 6年度
		達成率(%)	112.2	99.3	102.1	94.7		100.0	
⑤ 活動指標	資源化施設に搬入した不燃ごみ資源化割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	令和 6年度
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	241,011	220,771	234,635	217,943	263,673	
事業費	千円	234,425	214,183	227,961	211,269	256,999	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	14,324	14,943	12,671	10,760	18,905
	一般財源	千円	220,101	199,240	215,290	200,509	238,094
人件費	千円	6,586	6,588	6,674	6,674	6,674	
正職員	千円	6,586	6,588	6,674	6,674	6,674	
	人員	人	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 tあたり	千円	80.98	83.82	101.40	86.76	113.12
フルコストの増減理由							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 019 し尿収集経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 家庭系汲み取り便所 【手段】 し尿の収集運搬委託 【意図】 まちの環境美化 【成果】 区民の生活環境の保全	【現状の周辺環境】 戸数は減少しているが、一定の戸数の収集がある。 【他自治体との比較】 平成24年近隣区のをあわせ収集箇所の多い区が代表して雇上契約している。 板橋区 22件 北区 7件 豊島区 1件と 板橋区が多い状況は変わらない。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 対象指標	し尿収集対象戸数	戸	37.0	35.0	35.0	30.0	85.7	30.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	10,508	10,690	12,531	11,625	12,844	
事業費	千円	8,861	9,043	10,028	9,122	10,341	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	8,861	9,043	10,028	9,122	10,341
人件費	千円	1,647	1,647	2,503	2,503	2,503	
正職員	千円	1,647	1,647	2,503	2,503	2,503	
	人員	人	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	一戸あたり	千円	284	305.43	358.03	387.50	428.13
フルコストの増減理由							
車両雇上単価の増等							

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 020 動物死体処理経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「廃棄物処理及び清掃に関する法律」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 ペット等の動物（野良、道路上の回収分も含む）</p> <p>【手段】 収集、保管したものを処分業者に火葬委託</p> <p>【意図】 まちの環境美化</p> <p>【成果】 区民の生活環境の保全</p>	<p>【現状の周辺環境】 動物死体頭数は減少傾向である。</p> <p>【他自治体との比較】 23区内同様の事業を行っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	動物死体処理（届出分） （計）	頭	714.0	621.0	921.0	532.0	57.8	766.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
② 活動指標	動物死体処理（都道分） （計）	頭	26.0	21.0	32.0	6.0	18.8	25.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	13,311	13,038	14,198	12,965	13,702	
事業費	千円	2,608	2,332	3,353	2,120	2,857	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	796	747	858	720	783
	その他	千円	72	63	104	18	92
	一般財源	千円	1,740	1,522	2,391	1,382	1,982
人件費	千円	10,703	10,706	10,845	10,845	10,845	
正職員	千円	10,703	10,706	10,845	10,845	10,845	
	人員	人	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	一頭あたり	千円	17.99	20.31	14.90	24.10	17.32

フルコストの増減理由

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 021 ごみ処理券経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属	板橋東清掃事務所 板橋西清掃事務所				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 粗大ごみ排出者や区収集を利用する中小規模の事業者</p> <p>【手段】 有料ごみ処理券を流通させ、対象となるごみを排出する際の廃棄物処理手数料の徴収方法として、券の貼付等を義務化</p> <p>【意図】 廃棄物処理手数料の徴収を効率的に行う</p> <p>【成果】 受益者負担の徹底に寄与</p>	<p>【他自治体との比較】 事業概要欄のとおり基本的に23区統一である。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	ごみ処理券印刷枚数(粗大)	枚	1,353,300.0	1,321,790.0	1,378,600.0	1,332,500.0	96.7	1,408,000.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	ごみ処理券印刷枚数(事業系)	枚	754,700.0	743,500.0	748,300.0	514,600.0	68.8	734,400.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	ごみ処理券交付枚数(粗大)	枚	1,305,939.0	1,271,489.0	1,407,280.0	1,289,006.0	91.6	1,262,430.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	ごみ処理券交付枚数(事業系)	枚	753,091.0	740,298.0	700,500.0	742,854.0	106.0	691,700.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤									

特記事項

令和 5年 10月に廃棄物処理手数料の改定を行った。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	53,452	52,859	66,973	63,281	57,950	
事業費	千円	32,869	32,271	46,118	42,426	37,095	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	32,869	32,271	46,118	42,426	37,095
人件費	千円	20,583	20,588	20,855	20,855	20,855	
正職員	千円	20,583	20,588	20,855	20,855	20,855	
	人員	人	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 022 粗大ごみ受付センター経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」				
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 (公財) 東京都環境公社 (令和5年3月13日より) (株) NTTネクシア</p> <p>【手段】 粗大ごみ受付業務を委託</p> <p>【意図】 収集運搬の効率化及び有料粗大ごみ処理券の貼付の徹底化</p> <p>【成果】 区民からの確実及び迅速な受付に対応</p>	<p>【現状の周辺環境】 粗大ごみ排出増により、区民からは確実及び迅速な粗大ごみ受付対応が求められている。</p> <p>【他自治体との比較】 板橋区を含めて15区が当公社へ委託を行っていたが、公社の事業撤退に伴い、各区単独での業者選定を進めている。板橋区においては、令和5年3月13日から(株)ネクシアによる新たな粗大ごみ受付センターの運営を開始した。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	粗大ごみ受付件数	件	460,394.0	430,635.0	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	粗大ごみ収集個数	個	611,618.0	605,085.0	—	589,312.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	粗大ごみ受付件数 (NTTネクシア)	件	—	14,739.0	—	272,856.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④									
⑤									

特記事項

粗大ごみの受付件数、個数ともに増加傾向にあったが、令和4年度より減少傾向にある。
 ※令和5年3月13日から環境公社から株式会社NTTネクシアに委託業者が変わった。
 受付件数について、環境公社時代のカウント方法が1回ごとの内部処理(入力訂正など)も受付件数に計上されていたため、実際の受付件数よりも多く算出されていた。NTTネクシアの計上は1つの受付(新規・変更・取消)で計上している。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	56,615	100,865	106,741	106,741	105,982	
事業費	千円	54,145	98,395	104,238	104,238	103,479	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	54,145	98,395	104,238	104,238	103,479
人件費	千円	2,470	2,470	2,503	2,503	2,503	
正職員	千円	2,470	2,470	2,503	2,503	2,503	
人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	受付1件あたり	千円	0.12	0.23	—	0.39	—

フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 023 資源化施設運営経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2218
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「東京都板橋区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正な処理に関する条例」				
計画事業番号		事業期間	平成18年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 区民 【手段】 回収したびん・缶の再資源化 【意図】 資源のリサイクル 【成果】 循環型社会の構築への貢献	【現状の周辺環境】 事業開始より年数が経過し、機器等に老朽化が現れ始めている。 【アンケート・統計調査】 搬入量等は減少傾向にある。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	搬入量	t	6,145.2	5,837.8	6,000.0	5,583.6	93.1	5,700.0	5,700.0 令和 6年度
		達成率(%)	107.8	102.4	105.3	98.0		100.0	
②		達成率(%)							
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	220,432	221,690	337,442	346,530	229,172	
事業費	千円	210,552	211,808	327,432	336,520	219,162	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	1,824	1,932	1,914	1,914	1,955
	その他	千円	1,025	1,093	1,010	1,062	1,038
一般財源	千円	207,703	208,783	324,508	333,544	216,169	
人件費	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
正職員	千円	9,880	9,882	10,010	10,010	10,010	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	1 t あたり	千円	35.87	37.98	56.24	62.07	40.21

フルコストの増減理由

リサイクルプラザプラント機器延命化整備委託等による増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 024 中間処理経費				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進	
根拠法令要綱	「東京二十三区清掃一部事務組合格約」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」		
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 東京二十三区清掃一部事務組合、東京都</p> <p>【手段】 東京二十三区清掃一部事務組合への分担金、東京都への廃棄物埋立処分委託料の支払い。</p> <p>【意図】 ごみ・し尿の中間処理及び中間処理施設の整備をしている東京二十三区清掃一部事務組合の運営経費の負担。また、例外的に中間処理を経ずに直接埋立する臨時ごみについて、最終処分場の管理者である東京都に埋立処分を委託するため、その委託料の支払い。</p> <p>【成果】 二十三区がその事務の一部を共同処理することによる経費等の負担が少なくなる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 分担金額は東京二十三区清掃一部事務組合格約に基づき、同組合議会の議決を経て、管理者が定めることになっている。そのうえで、各区のごみ量等に応じて区毎の分担金額が算出されている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	廃棄物埋立処分量	t	1.3	1.9	1.7	1.4	86.1	1.9	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	2,141,486	2,433,408	2,656,764	2,656,762	2,708,511	
事業費	千円	2,140,663	2,432,584	2,655,930	2,655,928	2,707,677	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	531,114	519,425	580,377	537,838	559,430
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,609,549	1,913,159	2,075,553	2,118,090	2,148,247
人件費	千円	823	824	834	834	834	
正職員	千円	823	824	834	834	834	
	人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

東京二十三区清掃一部事務組合経費分担金の増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310500 - 025 事務諸経費 (資源総務)				
担当所属	資源循環推進課	担当者	-	連絡先	3579-2217
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310500	循環型社会の実現に向けた取り組みの推進			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	平成12年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 資源循環推進課 【手段】 課共有消耗品・郵券の購入・一般廃棄物処理業許可事務消耗品の購入 【意図】 課内事務作業時必要 【成果】 事務時間の短縮・作業効率化の向上	【現状の周辺環境】 。










【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
①		達成率 (%)							
②		達成率 (%)							
③		達成率 (%)							
④		達成率 (%)							
⑤		達成率 (%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	2,445	2,536	2,577	2,577	2,578
事業費	千円	798	889	909	909	910
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	627	372	572	576	406
一般財源	千円	171	517	337	333	504
人件費	千円	1,647	1,647	1,668	1,668	1,668
正職員	千円	1,647	1,647	1,668	1,668	1,668
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

令和 6年度 施策評価表

施策名	310600	自然環境と生物多様性の保全					
SDGs (関連性のあるGOAL)	        						
基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち						
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生						
所管部長	資源環境部長		所管課長	環境政策課長			
関連所管							

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要（目標）】 自然環境に関する基礎的な情報提供やイベント等を実施し、水と自然・生物多様性への関心を高め、保全行動を推進し、快適な環境や良好な水辺空間を維持・創出する。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 区民・事業者が、自然環境に対して関心を持ち、自然体験活動をはじめとした環境保全活動に積極的に参加し、日常生活における環境負荷の低減を実践する。</p> <p>【主な取り組み】 都市の水循環回復、水辺ふれあい、熱帯環境植物館運営など</p>	<p>水資源が適正に循環し、綺麗な河川や湧水の水環境により、区民は自然の恵みを楽しむ生活を送ることができている。これらは、河川の水質浄化・水質改善や、快適な自然環境の確保をはじめとした環境に対する区民の意識醸成に支えられている。</p> <p>その他地域の多様な生物との共存により、人も自然生態系の一員であることを自覚し、自然と調和した社会が実現している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 石神井川における生物化学的酸素要求量（BOD75%値）	mg/L	0.8	0.9	1.3	1.1	1.0
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	② 白子川における生物化学的酸素要求量（BOD75%値）	mg/L	2.8	2.7	2.2	2.1	2.0
		達成率(%)	—	—	—	—	令和 7年度
	③ 熱帯環境植物館の入館者数	人	100,581.0	122,830.0	134,317.0	130,000.0	130,000.0
	達成率(%)	77.4	94.5	103.3	—	令和 6年度	
	④ 自然・いきものさがしの報告件数	件	4,205.0	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—
	⑤ 自然環境に関するイベントによって意識の変化があった割合	%	86.2	88.8	76.2	89.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—

特記事項
①②施策指標は減少する目標値の為、達成率を明示しない取扱いとなっている／④区民参加型いきもの情報共有事業：区民からの報告件数【令和元年度～3年度実施】（令和4・5年度は自然・いきものアルバム事業（区民参加による自然探索事業）を実施）／⑤イベント参加者に対するアンケート実施。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	219,768	230,367	256,571	248,097	254,884	
事業費	千円	126,901	137,404	170,528	162,054	168,841	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	74	48	88	47	68
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	3,084	1,807	1,153	1,681	773
一般財源	千円	123,743	135,549	169,287	160,326	168,000	
人件費合計	千円	45,281	45,293	38,373	38,373	38,373	
経費	千円	47,586	47,670	47,670	47,670	47,670	

フルコストの増減理由
22,000千円：委託料の増（中央監視装置取替委託）

施策名	310600	自然環境と生物多様性の保全
------------	--------	---------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容		
評価用語/改善の方向性	-	
-		
前回の評価結果への対応状況		
対応状況	-	
-		

【一次評価】所管部長による評価

【成果の分析】 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価	概ね順調	
石神井川における生物化学的酸素要求量（BOD75%値）は長期的な視点で改善を目指す。白子川における生物化学的酸素要求量（BOD75%値）は順調に推移しており、概ね良好な河川の環境が確保されている。 熱帯環境植物館の入館者数は目標を上回る成果が出ており、引き続き成果の確保に努めていく。自然環境に関するイベントによって意識の変化があった割合の向上については、一層の工夫をもって事務事業に取り組んでいく。		
【成果の分析】 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因		
【アウトカムの分析】 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か		
評価	妥当	
最終アウトカム【人も自然生態系の一員であること知り、自然と調和した社会を実現】するためには、生物多様性の保全を推進していくことが不可欠である。中間アウトカム「環境意識の醸成」「自然環境の改善確保」は自然と調和した社会の実現に寄与するものであることから、中間アウトカムとして妥当である。		
【環境変化の分析】 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）		
評価	検討中	
国は、国際会議を経て、2023年に国家戦略を策定し、その中で2030年に向けた「ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現」を短期目標として設定し、2050年ビジョン「自然と共生する社会」の達成を目指している。 区は、令和8年度の板橋区環境基本計画の改定に併せて、新たに生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略を制定し、地域における自然環境に係る課題に取り組んでいく。		
【今後の展開方針】 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか		
社会状況や区民ニーズの変化に合わせて、常により良い施策を選択しながら生物多様性の保全を推進し、自然と調和した社会の実現を目指していく。		

【二次評価】区の最終評価

評価評語/改善の方向性	《概ね順調/工夫して継続》
自然環境や生物多様性の保全のためには、区民が環境の現状について知り、親しむことが重要である。エコポリスセンターや熱帯環境植物館などの施設を十分に活用することや、デジタル技術を上手く活用し、区民への環境意識の啓発に取り組むこと。今後の生物多様性地域戦略の策定に合わせ、生物多様性の理解促進とそれを支える人材育成、また区内だけでなく地球環境にも配慮・貢献する行動変容を促す取組により、生物多様性の普及啓発・教育の充実を一歩ずつ着実に進めること。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310600 - 001 水辺ふれあい		
担当所属	環境政策課	担当者	-
連絡先	3579-2593		
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310600	自然環境と生物多様性の保全	
根拠法令要綱	環境基本法、水質汚濁防止法、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、板橋区地下水及び湧水を保全する条例、板橋区環境基本計画2025		
計画事業番号		事業期間	昭和59年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 河川の水質汚濁の状況や湧水量などの調査を実施し、公表する。</p> <p>【意図】 河川の水質等の状況をモニタリングする。</p> <p>【成果】 快適な水辺環境が確保されている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 環境政策課で実施した令和5年度の4河川（荒川、石神井川、新河岸川、白子川）の年間平均の調査結果では、水素イオン濃度、BOD（生物化学的酸素要求量）、浮遊物質、溶存酸素の生活環境保全に関する環境基準をすべて満たしていた。 また、水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定について、平成29年度から石神井川、新河岸川、白子川は東京都告示により基準が変更になった。これは、河川の水質が向上したことにより、より基準の厳しい数値になった。 【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている（量的）」は、令和5年度調査において『満足』が55.8%であった（令和3年度調査では51.7%）。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	水質調査	回	12.0	12.0	12.0	12.0	0.0	12.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	湧水水量調査	回	12.0	12.0	12.0	12.0	0.0	12.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	石神井川のBOD（75%値）	mg/L	0.8	0.9	0.9	1.3	—	1.1	1.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
④ 成果指標	白子川のBOD（75%値）	mg/L	2.8	2.7	2.5	2.2	—	2.1	2.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	令和7年度
⑤ 成果指標	自然・いきものさがしの報告件数	件	4,205.0	—	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

①②活動指標は河川の現状把握を目的とするため、目標値を設定しない取扱いとなっている。
 ③④成果指標は減少する目標値の為、達成率を明示しない取扱いとなっている。
 ⑤区民参加型いきもの情報共有事業 区民からの報告件数 【令和元年度～3年度実施】（令和4・5年度は自然・いきものアルバム事業（区民参加による自然探索事業）を実施した。）

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算
フルコスト	千円	11,236	11,219	9,919	9,721	10,041
事業費	千円	1,356	1,337	1,577	1,379	1,699
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,356	1,337	1,577	1,379	1,699
人件費	千円	9,880	9,882	8,342	8,342	8,342
正職員	千円	9,880	9,882	8,342	8,342	8,342
人員	人	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

契約単価増による委託料の増 28千円
 契約単価増による需用費の増 14千円
 人員減 1647千円

事務事業名	310600 - 001 水辺ふれあい
--------------	---------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
<p>河川の水質状況や湧水量の調査結果などをイベント展示やＤＸの推進により丁寧で分かりやすく公表し、区民の環境保全や水質改善に関する意識を高めて行く。 調査や分析方法については、質を維持しながら効率的に進めるなど、常に改善を図りながらコストの適正化を図る。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
<p>各種イベントで、湧水や河川に関するパネル展やチラシの配布を行ったほか、ボランティア団体が管理する湧水を利用したトンボ池では、季節の草花等をツイッターで紹介し、区民の水環境に関する意識啓発を図った。 調査や分析方法については、質を維持しながら効率的に進めるなど、常に改善を図りながらコストの適正化を図っている。また有機フッ素化合物（ＰＦＯＳ）に関しては、東京都環境局の事業に協力し、区内数か所の検査を実施した。</p>	

【一次評価】所管課長による評価

【活動結果や成果の分析】		達成度	-
1. 活動指標の計画値を満したか	-		
2. 成果指標の計画値を満したか	-		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
【中間アウトカムとの整合性】		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
<p>水質の調査や水環境の啓発は、自然環境の保全や区民の環境意識の向上につながることから、中間アウトカムに貢献するものである。</p>			
【フルコストの把握・分析】		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
<p>調査資材の価格が高騰している中、予算執行において、複数社から見積もりを徴するなど、コスト削減に努めている。</p>			
【改善の方向性】			
1. 方向性を選択してください	工夫して継続		
2. 具体的な手段を選択してください			
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
<p>昨年度は、みどり公園課と共同し、湧水の見学会を開催した。こうした他部署と連携した事業展開により、効率的・効果的な事業の実施につとめていく。また、引き続き、水質調査を実施し、その状況をモニタリングしていくとともに、普及啓発についても、工夫を凝らして取り組んでいく。</p>			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
<p>板橋区には、崖線があり湧水が見られるという特徴がある。こうした地域の自然の恵みを、区民の方に伝える手法を工夫し、水環境に関する意識醸造を図っていく。 また、水質調査については、その状況を適切にモニタリングし、地域の自然環境の保全に取り組んでいく。</p>	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310600 - 002 都市の水循環回復		
担当所属	環境政策課	担当者	-
連絡先	3579-2593		
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310600	自然環境と生物多様性の保全	
根拠法令要綱	環境基本法、水質汚濁法、雨水の利用の促進に関する法律、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例、板橋区地下水及び湧水を保全する条例、条例施行規則、雨水貯留槽設置費補助金交付要綱、板橋区環境基本計画2025		
計画事業番号		事業期間	平成14年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 雨水を浸透させる区民や有効利用する区民</p> <p>【手段】 雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置を助成する</p> <p>【意図】 地下水の涵養、または雨水の有効利用を推進する</p> <p>【成果】 水資源の循環の適正化に努めていく</p>	<p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている（量的）」は、令和5年度調査において『満足』が55.8%であった。</p> <p>【アンケート・統計調査】 令和4年1月、雨水貯留タンクについて環境政策課でアンケート調査を実施。対象者：平成30～R2年度に板橋区雨水貯留槽設置費補助金制度を利用した区民41名 回答率73% 「満足している」「概ね満足している」と回答した区民は97%と満足度は非常に高い。また「普及・推進は必要であり、補助金制度を続けるべきである」と答えた区民は90%であった。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	雨水タンク設置助成	個	16.0	16.0	20.0	11.0	—	20.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	9,297	9,291	7,974	7,666	7,904	
事業費	千円	241	232	466	158	396	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	74	48	88	47	68
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	167	184	378	111	328
人件費	千円	9,056	9,059	7,508	7,508	7,508	
正職員	千円	9,056	9,059	7,508	7,508	7,508	
人員	人	1.1	1.1	0.9	0.9	0.9	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	雨水タンク1個あたり	千円	464.85	580.69	398.70	696.91	395.20

フルコストの増減理由

雨水貯留タンク設置数の減 R4実績16個 →R5実績11個

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310600 - 003	自然との共生			
担当所属	環境政策課	担当者	-	連絡先	3579-2593
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310600	自然環境と生物多様性の保全			
根拠法令要綱	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正に関する法律、板橋区環境基本計画2025				
計画事業番号		事業期間	平成15年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 野生鳥獣による被害を受ける区民 河川に親しむ区民 自然やいきものに関心を持つ区民</p> <p>【手段】 カラスの巣撤去及びカラス・ハクビシン等の捕獲駆除の他、河川の生物調査を実施し、結果を分かりやすく公表する 区民とともに自然やいきものを調査し公表する</p> <p>【意図】 野生鳥獣の適正数を確保し、外来生物を防除する 河川の水質浄化に対して意識の向上を図る 生物多様性の維持に対する意識を高める</p> <p>【成果】 快適な自然環境の確保に努めていく</p>	<p>【現状の周辺環境】 ハクビシンに関する相談件数が急増し、29年度よりハクビシン等被害対策事業を開始した。カラス被害の相談件数は依然として多く、野生鳥獣の被害対策に対する区民ニーズは高い。また、環境政策課が毎年実施する河川の生物種類数は維持傾向にある。令和元年度より令和3年度の3年間、全区民を対象とした区内の自然やいきもの情報を収集する事業を実施した。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 ハクビシン等、外来生物の侵入が自然環境だけでなく生活環境に影響を与えることが懸念されており、防除が必要となる。</p> <p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている(量的)」は、令和5年度調査において『満足』が55.8%であった(令和3年度調査では51.7%)。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値		
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度	
① 活動指標	カラスに係る相談件数	件	102.0	96.0	90.0	101.0	—	90.0	↘	
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	ハクビシンに係る相談件数	件	263.0	200.0	190.0	221.0	—	200.0	↘	
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	石神井川及び白子川の魚類種数	種	17.0	19.0	19.0	21.0	—	20.0	↗	
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—	—
④ 成果指標	石神井川及び白子川の魚類以外の水生動物種数	種	28.0	32.0	32.0	50.0	—	40.0	↗	
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	自然・いきものさがしの報告件数	件	4,205.0	—	—	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

③④令和2年度まで2河川の生物調査を実施、令和3年度より1河川の生物調査を隔年で行う。令5年度実施：石神井川
計画及び実績数は2河川とし、その年度に調査を行っていない河川については前年度の数値を使用し実施河川と合算する。
⑤区民参加型いきもの情報共有事業 区民からの報告件数「令和3年度で事業終了」

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	19,789	16,704	14,695	14,574	14,298	
事業費	千円	4,970	1,881	2,182	2,061	1,785	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	702	761	668	668	0
一般財源	千円	4,268	1,120	1,514	1,393	1,785	
人件費	千円	14,819	14,823	12,513	12,513	12,513	
正職員	千円	14,819	14,823	12,513	12,513	12,513	
	人員	人	1.8	1.8	1.5	1.5	1.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—	

フルコストの増減理由

事務改善(人件費)による減 △2,470千円

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310600 - 004 熱帯環境植物館運営経費				
担当所属	環境政策課	担当者	-	連絡先	3579-2593
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310600	自然環境と生物多様性の保全			
根拠法令要綱	東京都板橋区立熱帯環境植物館条例				
計画事業番号	033	事業期間	平成 6年度 ~	施設種別	環境関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民等</p> <p>【手段】 植物・魚類の宝庫である東南アジアの熱帯雨林を温室等で再現し、その自然に満ちた生態系の展示・公開・企画展等関連イベントの実施等を行う</p> <p>【意図】 緑と水など自然を体験する機会を提供し、地球環境問題に対する意識啓発を行う</p> <p>【成果】 年間10万人を超える来場者に対し、自然環境保護についての知識を普及啓発し、余暇利用の増進に寄与する。</p>	<p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある自然環境が整っている（量的）」は、令和5年度板橋区区民意識意向調査において『満足』が55.8%であった（令和3年度調査では51.7%）。</p> <p>【アンケート・統計調査】 令和5年度の館内アンケート調査では、施設の運営についての満足度が90.3%であり高い評価を得ている。 令和3年度より「自然環境やSDGsに関する行動変容に繋がった割合」を調査するアンケートを開始した。初年度の割合は、86.2%、令和4年度は88.8%と高い結果であった。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	企画展示・イベント	回	32.0	52.0	50.0	53.0	—	50.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	緑化相談	件	599.0	422.0	700.0	783.0	—	700.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	ガイドツアー	人	0.0	178.0	750.0	243.0	—	750.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 成果指標	入館者数	人	100,581.0	122,830.0	130,000.0	134,317.0	103.3	130,000.0	130,000.0
		達成率(%)	77.4	94.5	100.0	103.3	—	100.0	令和6年度
⑤ 成果指標	自然環境に関するイベントによって意識の変化があった割合	%	86.2	88.8	89.0	76.2	—	89.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

令和3年度より活動指標「企画展示・イベント」の対象事業を変更（縮小）した。対象事業を「SDGsについて学ぶ場を提供する企画展等」のみに変更した。
令和3年度よりイベント参加者に対して「自然環境やSDGsに関する行動変容に繋がった割合」を調査するアンケートを開始した。







【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	179,446	193,153	223,983	216,136	222,641	
事業費	千円	120,334	133,954	166,303	158,456	164,961	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	2,382	1,046	485	1,013	773	
一般財源	千円	117,952	132,908	165,818	157,443	164,188	
人件費	千円	11,526	11,529	10,010	10,010	10,010	
正職員	千円	11,526	11,529	10,010	10,010	10,010	
人員	人	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	47,586	47,670	47,670	47,670	47,670	
減価償却費	千円	47,586	47,670	47,670	47,670	47,670	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	入館者1人あたり	千円	1.78	1.57	1.72	1.61	1.71

フルコストの増減理由

22,000千円：委託料の増（中央監視装置取替委託）

令和 6年度 施策評価表

施策名	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出					
SDGs (関連性のあるGOAL)	     						
基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち						
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生						
所管部長	土木部長			所管課長	みどりと公園課長		
関連所管	南部土木サービスセンター 北部土木サービスセンター まちづくり推進室 生涯学習課 施設経営課、産業振興課、くらしと観光課、防災危機管理課、障がい政策課						

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 緑化意識の啓発と緑のまちづくりを進め、緑地の保全を図るとともに、地域ニーズにこたえる公園の整備などによって、潤いのある自然環境を創出する。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 関係課：公共空間における緑と水を保全し創出する。 区以外：敷地・建物の緑化と保全に努める。</p> <p>【主な取り組み】 「グリーンプラン2025」の推進、まちなみの緑の継承、公園の新設・改修、高島平緑地の環境整備など</p>	<p>都市公園法等の改正を踏まえ、緑の量的な目標だけでなく、利用者の視点に立った公園等の緑地の整備を行い、緑地の保全を図るとともに、潤いのある自然環境を創出する。また、区民の主体的な参加による緑地の維持管理を支援する仕組みの構築など、「緑の質」を向上する取り組みにシフトし、新たなニーズにも柔軟に対応しながら、誰もが楽しめ、暮らしやすく、住み続けたいまちを実現する。 ※都市公園法等の改正（平成29年6月15日施行）</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 区民意識意向調査（緑地保全・自然環境に関する量的満足度）	%	50.4	—	55.8	?	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—
	② 区民意識意向調査（緑地保全・自然環境に関する質的満足度）	%	50.4	—	48.1	?	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—
	③ 公園率	%	5.9	5.9	5.9	?	6.1
達成率(%)		—	—	—	—	令和 7年度	
④ 緑化面積（緑化指導）	m ²	8,942.6	9,658.3	10,924.4	?	?	
	達成率(%)	—	—	—	—	—	
⑤							
		達成率(%)					

特記事項
 指標①②：R3までは量的及び質的には分かれておらず、統合した設問であった。
 指標③：基本計画2025の施策指標。区面積（32.22km²）に対する都市公園面積の占める割合であり、潤いのある自然環境創出のための公園面積を増加させる必要がある。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	2,555,582	3,036,851	3,287,396	2,982,827	3,637,840	
事業費	千円	1,992,229	2,467,073	2,721,824	2,418,923	3,045,505	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	54,571	62,282	64,685	49,332	66,351
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	37,960	43,920	40,049	41,089	43,394
	その他	千円	47,379	28,753	29,613	26,147	27,310
一般財源	千円	1,852,319	2,332,118	2,587,477	2,302,355	2,908,450	
人件費合計	千円	386,532	396,093	391,426	389,758	418,189	
経費	千円	176,821	173,685	174,146	174,146	174,146	

フルコストの増減理由
 事業量の増加や物価高騰により増額した事務事業もあったが、緊急経済対策の終了などによりフルコストは微減となった。

施策名	310700 緑化の推進と自然にふれあう機会の創出
------------	---------------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容	
評価標語／改善の方向性	-
-	
前回の評価結果への対応状況	
対応状況	-
-	

【一次評価】所管部長による評価

[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移	
評価	概ね順調
区民意識意向調査に基づく「満足度」はほぼ横ばい状態であるが、令和6年度以降に更なる向上に努めていく。また、「公園率」も横ばい状態であるが、令和6年度以降に公園用地の取得を進める予定である。「緑化面積」については、引き続き適切な緑化指導を進めていくことで更なる拡大につなげていく。	
[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因	
-	
[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か	
評価	妥当
区は利用する住民視点で公園を運用していく必要があるため、職員が「区民満足度」に基づきサービス提供を行うことが必須である。また、都市公園法や都市緑地法等の関連法令に基づき、住民の福祉向上につなげるために、「公園率」や「緑化面積」の更なる増加に取り組む必要がある。以上を踏まえ、中間アウトカムは妥当であると考えます。	
[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）	
評価	検討中
新型コロナウイルスの流行でリモートワークが普及し、自宅や自宅周辺で過ごす時間が増加するなど、人々の生活スタイルは大きく変わってきている中、利用人数が流行前の水準に戻らない公園もある。環境変化に基づき、適切な事業展開を検討する必要がある。	
[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか	
区民「満足度」向上につなげるために、魅力発信強化を行う予定である。また、いたばしNo.1実現プラン等に基づき、「公園率」向上のために用地取得を進めていくとともに、「緑化面積」の更なる拡大に努めていく。以上を踏まえ、緑化の推進と自然にふれあう機会創出のために、公園と緑化の行政計画である「いたばしグリーン2025」の改訂を進め、現状に適したサービスを提供していく。	

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	《概ね順調／工夫して継続》
事業による効果やめざすべき施策全体のアウトカムを意識し、公園の利用率や周辺の環境等を考慮した適正な配置・管理を進め、既存の維持管理にとどまらない、公園の特色に応じたテーマ設定などを検討すること。特に今後、板橋公園や史跡公園など、いたばしらしさが求められているため、新たなニーズにも柔軟に対応しながら誰もが楽しめる公園づくりを進めること。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 001 緑と公園の推進会議運営経費				
担当所属	みどりと公園課	担当者	-	連絡先	3579-2525
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	板橋区緑と公園の推進会議設置要綱 板橋区緑と公園の推進会議設置要綱細目				
計画事業番号		事業期間	平成26年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 いたばしグリーンプラン2025 (板橋区緑の基本計画)</p> <p>【手段】 学識経験者、区内の緑や公園等に関する各種ボランティアを行う団体関係者、緑のサポーター会議に所属する区民、その他区長が認めるものにより構成される「緑と公園の推進会議」を、みどり公園課が事務局となり運営する。</p> <p>【意図】 「緑と公園の推進会議」にて、いたばしグリーンプラン2025 (板橋区緑の基本計画)における計画事業の進捗状況の点検、評価を行うとともに、計画の推進方策や緑、公園等に関する課題についての提案及び助言を行うことで計画の実効性を高める。</p> <p>【成果】 年間4回会議を実施し、全78事業について進捗状況の評価と提案を受けた。</p>	<p>【アンケート・統計調査】 緑に関する区民意識調査(平成29年実施、回答数778)「住まいの周りの緑についての満足度」で満足・ほぼ満足と答えた人の割合 →35%</p> <p>【他自治体との比較】 各自治体で、同様の緑と公園に関する会議体を設けている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	緑と公園の推進会議開催回数	回	3.0	4.0	4.0	4.0	100.0	4.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
② 成果指標	推進会議による進捗状況評価A及び実施済みの事業数	個	41.0	51.0	59.0	47.0	79.7	63.0	78.0
		達成率(%)	52.6	65.4	75.6	60.3		80.8	令和7年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

令和元年度より、いたばしグリーンプラン2025に示された各事業の進捗状況をA(事業を実施した)B(事業実施に向け検討をすすめた)C(実施できなかった。予定通りにいかなかった)の3指標で構成員から評価を受けるとともに、提案・助言を受けている。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	6,075	6,141	8,845	8,731	81,795	
事業費	千円	312	376	503	389	45,090	
特定財源	千円	0	0	0	0	0	
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	312	376	503	389	45,090	
人件費	千円	5,763	5,765	8,342	8,342	36,705	
正職員	千円	5,763	5,765	8,342	8,342	36,705	
人員	人	0.7	0.7	1.0	1.0	4.4	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	会議構成員一人あたり	千円	405	409.40	680.38	671.62	6,291.92

フルコストの増減理由

パークマネジメント運営の施策検討及びグリーンプラン改定準備に係る人件費の増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 002 グリーンフェスタ				
担当所属	みどりと公園課	担当者	-	連絡先	3579-2533
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	東京都板橋区緑化の推進に関する条例				
計画事業番号		事業期間	平成 2年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 美しい新緑のもとで緑に親しむイベントを実施</p> <p>【意図】 みどりを大切にする心と行動を広く啓発し、イベント内での展示や体験型の催し物を通して、みどりや自然に親しみと関心をもってもらうことを目的とする。</p> <p>【成果】 グリーンフェスタの来場者数</p>	<p>【アンケート・統計調査】 緑に関する区民アンケート（平成29年実施、回収数778）の結果 「公園でのイベントに行きたい、または既に行っている。」 →31%</p> <p>区内の公園・緑地・植物園についてのモニターアンケート（令和3年実施、回答数79）の結果 みどりに触れる機会のない理由→「きっかけがない」65.3% 「気軽に参加できるイベントがあれば参加したい」90.9%</p> <p>【他自治体との比較】 各自治体で、春または秋に同様の緑化啓発イベントを開催している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	グリーンフェスタ来場者数（単年度）	人	—	2,593.0	5,000.0	1,994.0	39.9	5,000.0	5,000.0
		達成率(%)	—	51.9	100.0	39.9		100.0	令和 7年度
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

特記事項

目標値は緑の基本計画（いたばしグリーンプラン2025）を基に設定（平成30年度～令和7年度：延べ40,000人）。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は規模を縮小し動画配信のみを行い、令和4、5年度は通常開催した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	6,517	6,939	9,593	6,953	6,961
事業費	千円	1,577	1,998	2,085	1,948	1,956
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	21	480	349	147	572
一般財源	千円	1,556	1,518	1,736	1,801	1,384
人件費	千円	4,940	4,941	7,508	5,005	5,005
正職員	千円	4,940	4,941	7,508	5,005	5,005
人員	人	0.6	0.6	0.9	0.6	0.6
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	来場者10人あたり	—	26.79	19.19	34.87	13.92

フルコストの増減理由

雨天のため一部イベントが中止となったことによる報償費の減。

※令和3年度はコロナ禍で動画配信のみを行ったため、コスト指標は算出していない

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310700 - 003 地域緑化啓発				
担当所属	みどりと公園課	担当者	-	連絡先	3579-2533
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	板橋区緑化の推進に関する条例		
計画事業番号		事業期間	~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 緑に関するイベントや協働活動を実施し、緑化意識の啓発を行う。</p> <p>【意図】 区民にみどりの価値や魅力を知ってもらう。</p> <p>【成果】 2年ごとに政策企画課が実施している板橋区区民意識意向調査の結果で、公園・自然について満足・やや満足と回答した人の割合</p>	<p>【現状の周辺環境】 「緑確保の総合的な方針」の改定（令和2年7月） 都市緑地法の改正（平成29年6月、平成30年4月）</p> <p>【アンケート・統計調査】 （令和5年度調査結果） 公園・自然に関する区民満足度（2年度ごと調査） 量的に満足・まあ満足と答えた人の割合：55.8% 質的に満足・まあ満足と答えた人の割合：48.1%</p> <p>【区民からの意見】 緑と公園の推進会議において委員から、緑の基本計画等の進捗状況や緑の課題について意見をもらっている。</p> <p>【他自治体との比較】 各自治体において、緑化啓発の取り組みを行っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	緑のイベント・協働活動参加者数（単年度）	人	44,719.0	38,821.0	62,500.0	47,821.0	76.5	62,500.0	令和7年度
		達成率(%)	71.6	62.1	100.0	76.5		100.0	
② 成果指標	区民意識意向調査（緑地保全・自然環境に関する量的満足度）	%	51.7	—	—	55.8	—	?	?
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③ 成果指標	区民意識意向調査（緑地保全・自然環境に関する質的満足度）	%	51.7	—	—	48.1	—	?	?
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

①②緑の基本計画 いたばしグリーンプラン2025における計画の目標数値。また、区民意識意向調査による「自然環境・公園に対する満足度調査」では平成29年43.2%、令和元年度47.3%、令和3年度51.7%と満足・やや満足と答えた人の割合が増加している。令和5年度調査は、調査項目を量的満足度と質的満足度に分けて実施した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	13,019	10,782	14,269	10,928	10,936	
事業費	千円	2,316	76	88	83	91	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	8	8	15	12	15
	一般財源	千円	2,308	68	73	71	76
人件費	千円	10,703	10,706	14,181	10,845	10,845	
正職員	千円	10,703	10,706	14,181	10,845	10,845	
人員	人	1.3	1.3	1.7	1.3	1.3	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	対象10人あたり	千円	2.91	2.78	2.28	2.28	1.75

フルコストの増減理由

ガイドツアーボランティア増による報償費の増

事務事業名	310700 - 003 地域緑化啓発
-------	---------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	停滞/工夫して継続
板橋ブランドとしての赤塚植物園のあり方と緑化啓発としてのグリーンフェスタのあり方を原点に帰って整備すると共に、ポストコロナ時代の施設運営やニーズの流れを踏まえた事業のあり方を研究する。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
時代のニーズにあった施設運営や事業のあり方を検討し、赤塚植物園維持管理運営およびグリーンフェスタ事業実施について令和7年度からの指定管理制度導入を決定した。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	70%~90%がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	グリーンフェスタ等の一部事業について、事業効果を考慮し実施形態を見直したため。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
SNSやオンライン等の時代のニーズにあった手法を工夫して緑のイベント・協働活動を実施し、緑化意識の醸成に寄与した。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況	ボランティアによるガイド、SNSによる告知など創意工夫を行いながら、実施している。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	緑化意識の啓発や協働によるまちづくりの更なる推進に向けた施策展開の内容を見直し、創意工夫して実施可能な手法を検討していく。		

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	停滞/事業手法の見直し
緑化に対する社会的な意識の変化を捉え、量から質への変換を図る必要から、基準や質的向上の方向性を見極めつつ、事業手法を研究していく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 004 民間施設緑化	
担当所属	みどりと公園課	担当者
関連所属		連絡先
		3579-2533

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	板橋区民間施設緑化助成要綱 板橋区緑化の推進に関する条例		
計画事業番号		事業期間	昭和54年度 ~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内の土地・建物の所有者又はこれらの緑化について権限を有するもの。</p> <p>【手段】 ①宅地接道部や屋上の緑化等を行う区民に対して一定の緑化助成を行う。 ②一定規模以上の建築行為等を行う事業者等に対して条例に基づく緑化を義務付ける。</p> <p>【意図】 緑化の推進を図る。ブロック塀を併せて撤去することによりブロック塀撤去費の助成も行い防災効果UPの一面も担う。</p> <p>【成果】 緑の基本計画の改訂時に行う、住まいのまわりの緑についてのアンケート結果で満足・やや満足と回答した人の割合</p>	<p>【現状の周辺環境】 平成30年6月に発生した大阪府北部地震によるブロック塀倒壊を受け、建築指導課と連携し補助制度の見直し及び強化を令和2年までに実施した。</p> <p>【アンケート・統計調査】 住まいのまわりの緑についての満足度 (平成21年度調査) 「満足・やや満足」45% 「不満・やや不満」32% (平成28年度調査) 「満足・やや満足」35% 「不満・やや不満」32%</p> <p>【他自治体との比較】 多くの自治体において同様の施策を実施</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	緑化助成件数(接道部緑化・屋上緑化)	件	4.0	1.0	9.0	1.0	—	5.0	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	緑化面積(緑化指導)	m ²	8,942.6	9,658.3	?	10,924.4	—	?	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	住まいのまわりの緑の満足度	%	—	—	—	—	—	40.0	40.0
		達成率(%)	—	—	—	—	—	100.0	令和 6年度
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

特記事項

緑化助成、緑化指導ともに申請によるものであるため、将来の目標値の設定はなし。(①、②)
令和5年4月から緑化指導の届出対象が拡大された。
いたばしグリーンプラン2025の目標値(③)※H21、H28年度実績。次回はグリーンプラン2025改訂時令和6年度調査に実施する。
H28に行った調査では、住まいのまわりの緑の満足度は35%であった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	8,104	7,511	8,807	7,553	8,537	
事業費	千円	694	99	1,299	45	1,029	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	694	99	1,299	45	1,029	
人件費	千円	7,410	7,412	7,508	7,508	7,508	
正職員	千円	7,410	7,412	7,508	7,508	7,508	
人員	人	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	緑化面積10m ² あたり	千円	9.06	7.78	—	7.57	—

フルコストの増減理由

助成実績減による助成金の減

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 005 保存樹木等保護				
担当所属	みどりと公園課	担当者	-	連絡先	3579-2533
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	板橋区緑化の推進に関する条例 板橋区保存樹木等管理助成要綱				
計画事業番号		事業期間	昭和54年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 保存樹木等所有者 【手段】 保存樹木、保存樹林制度や特別緑地保全地区制度の活用 【意図】 緑地の保全を図る 【成果】 うるおいと安らぎを与える「街並みの緑」を次世代に継承	【区民意識意向調査】 「自然地の保全」に関する「満足」の割合 令和3年度⇒51.7% 【アンケート・統計調査】 最近5年間の近隣の緑の量について（緑に関する区民アンケート・平成28年度調査） 「かなり増えた・やや増えた」7%、「かなり減った・やや減った」25% 【区民からの意見】 保存樹木等の所有者から落葉の掃除等が負担であるとの意見があった。 【他自治体との比較】 多くの自治体で同様の取り組みを行っている。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	保存樹木新規指定本数 (年間)	本	12.0	15.0	30.0	4.0	13.3	30.0	30.0
		達成率(%)	40.0	50.0	100.0	13.3		100.0	令和 7年度
② 活動指標	保存樹林面積	m ²	30,462.5	30,462.5	—	30,462.5	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③ 活動指標	特別緑地保全地区指定箇所数	箇所	2.0	2.0	—	2.0	—	⇒	3.0
		達成率(%)	66.7	66.7	—	66.7		—	令和 7年度
④ 成果指標	緑被率	%	—	—	—	—	—	↗	21.0
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和 7年度
⑤									

特記事項

保存樹木等は各年度の4月1日現在の本数で計上している。
④は5年に1回の調査である。(次回は令和6年度)

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	25,673	24,083	26,037	25,641	27,099	
事業費	千円	16,617	15,024	18,529	16,465	17,923	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	16,617	15,024	18,529	16,465	17,923
人件費	千円	9,056	9,059	7,508	9,176	9,176	
正職員	千円	9,056	9,059	7,508	9,176	9,176	
	人員	人	1.1	1.1	0.9	1.1	1.1
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	保存樹木総数1本あたり	千円	15.05	14.26	14.62	15.52	16.40

フルコストの増減理由

保存樹木等助成金申請件数は減少したが、剪定経費助成申請本数の増加により補助金の支出金額は増加した

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 006 分収造林育成				
担当所属	みどりと公園課	担当者	-	連絡先	3579-2533
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱					
計画事業番号		事業期間	平成 2年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 栃木県塩谷郡栗山村（現日光市） 分収造林「板橋区の森」 土呂部字木ノコ峰国有林ほ2, 3, 4 小班</p> <p>【手段】 年間2, 3回板橋森林ボランティアにより、下草刈りや獣害防除作業等の活動を行う。</p> <p>【意図】 契約終了までの期間、分収造林として健全な樹木管理を進めていく。</p> <p>【成果】 不良木、枯損木が無くなり健全な分収造林が育成される。</p>	<p>【現状の周辺環境】 みどりと文化の交流協定締結をもとに、地域交流の一環として「いたばし森林塾」を実施していたが、熊の出没により平成19年度より活動を休止中としている。 分収造林により森林の有する多面的機能の発揮に資するとともに、地球温暖化による様々な影響が深刻化する中、二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた活動に寄与している。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 板橋区の森の整備に森林環境贈与税を活用しているが、今後さらなる用途の検討を進める。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	活動回数	回	1.0	2.0	3.0	2.0	66.7	3.0	令和 6年度
		達成率(%)	33.3	66.7	100.0	66.7		100.0	
② 活動指標	作業面積	平米	20,000.0	40,500.0	65,000.0	17,500.0	26.9	65,000.0	令和 6年度
		達成率(%)	30.8	62.3	100.0	26.9		100.0	
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の動向について板橋森林ボランティアと協議した結果「板橋区の森」での活動を1回中止した。また令和3、4年度の作業内容と異なり、散策路や階段補修等を主に実施したため、作業面積として算定できず実績が減少した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	6,425	5,966	4,931	4,255	4,931
事業費	千円	1,485	1,025	1,594	918	1,594
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	1,485	1,025	1,594	918	1,594
一般財源	千円	0	0	0	0	0
人件費	千円	4,940	4,941	3,337	3,337	3,337
正職員	千円	4,940	4,941	3,337	3,337	3,337
人員	人	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	作業面積(100㎡)あたり 千円	32.13	14.73	7.59	24.31	7.59

フルコストの増減理由

令和5年度は維持管理委託の履行確認と森林管理署との協議を同日に履行できたため、旅費が減少した。また獣害防除シートを在庫対応したため、消耗品費も減少した。

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 007 維持管理 (みどりと公園課)				
担当所属	みどりと公園課	担当者	-	連絡先	3579-2525
関連所属	土木部管理課				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	東京都板橋区公園条例				
計画事業番号	037、041	事業期間	～ 永年	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
【対象】 公園利用者 【手段】 ①こども動物園（東板橋・徳丸ヶ原）のイベント開催や指定管理者による管理運営 ②公園を適切に管理するためなどの整備等 【意図】 公園の適切な管理運営により、利用者の快適性・安全性を高める。 【成果】 利用者が、快適かつ安全に公園を利用できる環境が整備された。また、指定管理者制度等による魅力ある公園づくりを推進した。	【区民意識意向調査】 令和5年度板橋区区民意識意向調査では「憩える公園・緑地」における「満足」の割合が【量】49.0%、【質】43.8%で、「不満」の割合は【量】13.9%、【質】15.8%だった。（令和3年度同調査では質と量に設問が分かれておらず満足の割合50.4%、不満の割合13.0%であった） 【区民からの意見】 （区長への手紙） ・栄町原っぱ公園（栄町19番遊び場）をなくさないでほしい ・バットを使用したボール遊びができる公園を作ってほしい

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	公園台帳整備	か所	6.0	25.0	—	30.0	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	陳情件数	件	594.0	546.0	—	454.0	—	↘	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	こども動物園（本園・分園）利用者数	人	548,814.0	606,557.0	600,000.0	567,130.0	94.5	600,000.0	600,000.0
		達成率(%)	91.5	101.1	100.0	94.5	—	100.0	令和 7年度
④									
⑤									

特記事項

②は令和3年度から、みどりと公園課のみの集計となった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	380,854	280,206	382,694	271,318	584,779	
事業費	千円	146,294	177,326	280,643	169,267	490,236	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	536	653	0	1,909	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	36,607	42,762	39,061	39,881	
	その他	千円	19,496	98	72	72	
	一般財源	千円	89,655	133,813	241,510	127,405	
人件費	千円	68,334	67,527	71,741	71,741	64,233	
正職員	千円	68,334	67,527	71,741	71,741	64,233	
	人員	人	8.3	8.2	8.6	8.6	
	再任用等	千円	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0		
経費	千円	166,226	35,353	30,310	30,310	30,310	
減価償却費	千円	166,226	35,353	30,310	30,310		
その他	千円	0	0	0	0		
コスト指標	公園面積 100㎡あたり	千円	24.55	18.07	24.68	17.51	37.74

フルコストの増減理由

事業繰り延べによる工事請負費の減

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 008 維持管理 (南部土木サービスセンター)				
担当所属	南部土木サービスセンター	担当者	-	連絡先	3579-2508
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	東京都板橋区公園条例		
計画事業番号		事業期間	~
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園等利用者 (南部土木サービスセンター所管区域内)</p> <p>【手段】 公園清掃、樹木剪定及び公園施設破損箇所等の修理を実施する。</p> <p>【意図】 公園の適切な管理により、利用者の快適性・安全性を高める。</p> <p>【成果】 公園等利用者が、快適かつ安全に公園を利用できる環境が整備された。</p>	<p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある、自然環境が整っている」、「憩える公園・緑地が整備されている」に約50%が『満足・まあ満足』と回答しており、増加傾向にある。</p> <p>【区民からの意見】 (区長への手紙、CRM) ・ゴミが散乱しているので清掃し、気持ちよく使える公園にしてほしい。 ・公園内で喫煙している人がいるので注意してほしい。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画	目標年度
① 活動指標	公園維持補修工事	件	82.0	83.0	—	84.0	—	—	
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	
② 活動指標	花壇づくり活動団体数	団体	49.0	50.0	—	48.0	—	—	
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	
③ 成果指標	陳情件数	件	1,050.0	957.0	—	937.0	—	—	
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—	
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	690,893	786,939	834,785	782,399	864,490
事業費	千円	583,291	616,803	660,600	608,214	690,305
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	1,173	2,087	2,661	2,211
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	25,872	26,699	26,749	24,070
	一般財源	千円	556,246	588,017	631,190	581,933
人件費	千円	107,602	107,380	108,674	108,674	108,674
正職員	千円	98,796	98,820	100,104	100,104	100,104
	人員	人	12.0	12.0	12.0	12.0
	再任用等	千円	8,806	8,560	8,570	8,570
	人員	人	2.0	2.0	2.0	2.0
その他職員	千円	0	0	0	0	
経費	千円	0	62,756	65,511	65,511	65,511
減価償却費	千円	0	62,756	65,511	65,511	
その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和 4年度で経済対策事業 (公園樹木整備委託) が終了したためフルコスト減。

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310700 - 009 維持管理 (北部土木サービスセンター)				
担当所属	北部土木サービスセンター	担当者	-	連絡先	5398-1251
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	東京都板橋区公園条例				
計画事業番号	025	事業期間	令和 3年度 ~	施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園等利用者 (北部土木サービスセンター所管区域内)</p> <p>【手段】 公園清掃、樹木剪定及び公園施設破損箇所等の修理を実施する。</p> <p>【意図】 公園の適切な管理により、利用者の快適性・安全性を高める。</p> <p>【成果】 公園利用者が、快適かつ安全に公園を利用できる環境が整備された。</p>	<p>【区民意識意向調査】 「緑地が保全され潤いのある、自然環境が整っている。」「憩える公園・緑地が整備されている。」に約50%が『満足・まあ満足』と回答しており、増加傾向にある。</p> <p>【区民からの意見】 ・公園樹木の剪定依頼 (高木剪定による日当たり改善、低木剪定による見通し改善) ・公園施設劣化に伴う危険予防のための補修工事依頼 ・公園樹木に作ったカラス等の巣撤去依頼、害虫の駆除依頼など</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率 (%)	計画
① 活動指標	公園維持補修工事	件	91.0	84.0	—	77.0	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	植栽 (実計分)	m ²	100.0	104.0	100.0	102.0	102.0	100.0
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	樹木の伐採・伐根 (実計分)	本	98.0	80.0	73.0	101.0	138.4	71.0
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	花壇づくり活動団体数	団体	35.0	35.0	—	35.0	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—
⑤ 成果指標	陳情件数 (実績)	件	528.0	546.0	—	479.0	—	—
		達成率 (%)	—	—	—	—	—	—

特記事項
組織改正により、北部土木サービスセンターのみの集計となった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	744,816	826,699	865,116	825,241	909,521
事業費	千円	686,651	703,728	738,804	698,929	783,209
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	25,362	1,305	2,024	1,941
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	283	265	404	409
	一般財源	千円	661,006	702,158	736,376	696,579
人件費	千円	58,165	57,769	58,353	58,353	58,353
正職員	千円	43,635	43,645	44,213	44,213	44,213
	人員	人	5.3	5.3	5.3	5.3
再任用等	千円	14,530	14,124	14,140	14,140	14,140
	人員	人	3.3	3.3	3.3	3.3
その他職員	千円	0	0	0	0	
経費	千円	0	65,202	67,959	67,959	67,959
減価償却費	千円	0	65,202	67,959	67,959	
その他	千円	0	0	0	0	
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和 4年度決算と令和 5年度決算において、令和 5年度は緊急経済対策等がなくなったことにより、フルコストが減少した。

事務事業名	310700 - 009 維持管理（北部土木サービスセンター）
-------	---------------------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	順調／工夫して継続
維持管理の標準化によるコスト削減、維持管理における民間活力の活用、協働の3つの視点から、事業実施体制の見直しに向けて、工夫し継続する。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	一部対応済
こども動物園のある徳丸ヶ原公園については、指定管理制度を令和2年6月から導入済みである。維持管理のコスト削減として、ベンチ板をプラ擬木にするなどの取組を行っている。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	-		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
維持補修工事及び樹木の伐採・抜根により、公園の適正な維持管理、ひいては「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
年間委託仕様内容について適正であるか確認を行い、コスト抑制に努めている。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト削減／活動・成果指標の維持		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
維持管理費用の縮減や平準化を図るため、耐用年数の高い製品の使用や、製品部材の共通化、地域参加型の運営管理、民間との協力について今後さらに検討を進めていく。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
公園の維持管理に対する苦情・要望の多さに鑑みるに「維持管理」が順調に進んでいるとは言い難い。苦情等の原因並びに対策・防止策を調査、研究すると共に、地域団体等との新しい関係づくりを進め、費用対効果の向上を図っていく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 010 特色ある公園施設				
担当所属	南部土木サービスセンター	担当者	-	連絡先	03-3579-2532
関連所属	北部土木サービスセンター 土木部管理課				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	都市公園法、東京都板橋区立公園条例、東京都板橋区立公園条例施行規則		
計画事業番号		事業期間	～ 永年
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園施設利用者</p> <p>【手段】 水車公園、日本庭園、交通公園（板橋・城北）、つり堀公園、薬師の泉、見次公園ボートの運営を行う。</p> <p>【意図】 特色のある公園施設の運営を通して、公園施設利用の促進を図る。</p> <p>【成果】 特色ある公園施設の利用促進</p>	<p>【他自治体との比較】 （特色ある公園施設の主な設置区）</p> <p>舟遊場 練馬区、千代田区、江戸川区など</p> <p>交通公園 練馬区、杉並区、世田谷区など</p> <p>つり堀公園 北区、墨田区、目黒区など</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 成果指標	日本庭園（茶室）利用件数	件	526.0	573.0	—	620.0	—	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	水車公園利用者数	人	12,436.0	12,030.0	—	8,556.0	—	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	交通公園（板橋・城北）利用者数	人	284,195.0	245,118.0	—	216,437.0	—	?
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
④								
⑤								
特記事項								

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	59,056	60,058	63,306	63,051	65,591	
事業費	千円	38,473	39,470	42,451	42,196	44,736	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	1,353	1,158	988	1,208	1,183
	その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	37,120	38,312	41,463	40,988	43,553	
人件費	千円	20,583	20,588	20,855	20,855	20,855	
正職員	千円	20,583	20,588	20,855	20,855	20,855	
	人員	人	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	利用者 1,000人あたり	千円	59.06	60.06	63.31	63.05	65.59

フルコストの増減理由

- 令和 4年度 - 令和 5年度のフルコスト増減理由（主なもの）
特色ある公園施設の管理運営委託料の増

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 011 こどもの池				
担当所属	南部土木サービスセンター	担当者	-	連絡先	3579-2532
関連所属	北部土木サービスセンター				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	東京都板橋区立公園条例 東京都板橋区立公園条例施行規則				
計画事業番号		事業期間	~	施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 こどもの池施設利用者</p> <p>【手段】 地域を主体とする団体と契約を締結し、夏期におけるこどもの水遊び場の運営を行う。</p> <p>【意図】 子ども達に健全な水の遊び場を提供するために、地域と共に運営を行っている。</p> <p>【成果】 地域の効果的な運営の推進と、夏期のこどもの水遊びの機会が提供される。</p>	<p>【開始時の周辺環境】 区内の利用対象年齢（2歳～12歳）の人口は、昭和52年（ピーク時）約8万人いた。</p> <p>【現状の周辺環境】 ●区内の利用対象年齢（2歳～12歳）の人口は、令和5年現在約4万4千人となっている。 ●近年の猛暑等により、熱中症予防による運営中止日が増加している。 ●こどもの人口減少のほか、こどもの遊び方の多様化により、こどもの池の利用人数が減少傾向にある。</p> <p>【他自治体との比較】 他区の水遊び施設は噴水やミストなど流れが多く、「こどもの池」に近い形態で、10箇所以上存在する区は、板橋区と足立区のみである。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	こどもの池箇所数	箇所	21.0	15.0	19.0	15.0	78.9	19.0	21.0
		達成率(%)	100.0	71.4	90.5	71.4		90.5	—
② 成果指標	こどもの池利用者数	人	—	13,110.0	—	5,865.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							

特記事項

- 令和3年度について
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、利用者及び従事者の健康と安全を最優先するため、こどもの池の開催を中止した。
- こどもの池箇所数について
令和3年度までは設置箇所数としてきたが、令和4年度より運営を行った箇所数とした。
- 令和5年度利用者数について
熱中症予防等による開催中止日数が多かったことにより、前年度比減となった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	0	25,323	25,166	24,989	34,444
事業費	千円	0	21,205	20,995	20,818	30,273
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	21,205	20,995	20,818	30,273
人件費	千円	0	4,118	4,171	4,171	4,171
正職員	千円	0	4,118	4,171	4,171	4,171
人員	人	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	こどもの池1箇所あたり 千円	—	1,688.20	1,677.73	1,665.93	1,812.84

フルコストの増減理由

- 令和4年度ー令和5年度のフルコスト増減理由（主なもの）
こどもの池工事請負費・修繕料の減

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 012 赤塚植物園				
担当所属	みどり公園課	担当者	-	連絡先	3579-2533
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	都市公園法 板橋区公園条例 板橋区緑化の推進に関する条例				
計画事業番号		事業期間	昭和56年度 ~	施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 植物展示、講習会、自然観察会、農業体験イベントを行う。</p> <p>【意図】 来園者に自然環境を身近に感じてもらい、緑化環境・自然環境の大切さ、保全の重要性を確認し、自らの周辺の緑化等に努めてもらう機会を提供する。赤塚地域の特徴を伝え、樹林地や農の風景の保全の推進を高めるきっかけを作る。</p> <p>【成果】 来園者数や緑の相談回答件数は増加する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 令和2年に植物園隣接地に、主に子どもたちを対象に農業体験の場を提供する農業園が開園した。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	観察会開催回数	回	4.0	7.0	9.0	7.0	77.8	9.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	緑化講習会開催回数	回	10.0	7.0	10.0	9.0	90.0	10.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	農業体験イベント回数	回	27.0	30.0	43.0	31.0	72.1	43.0	43.0
		達成率(%)	62.8	69.8	100.0	72.1	—	100.0	令和6年度
④ 成果指標	来園者数	人	80,467.0	72,701.0	96,000.0	65,867.0	68.6	96,000.0	96,000.0
		達成率(%)	83.8	75.7	100.0	68.6	—	100.0	令和6年度
⑤ 成果指標	緑の相談回答件数	件	705.0	568.0	—	550.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

コロナ禍の行動制限が緩和されたことによる他観光施設への来園者の流出や、猛暑による夏期の来園者数減少により、令和5年度は来園者数がさらに減少している。
赤塚植物園の指定管理者制度導入により、集客性のある新たな事業展開が期待される。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	71,370	71,302	63,416	65,645	73,703	
事業費	千円	41,358	41,454	42,827	42,553	46,440	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	214	178	430	519	264
	一般財源	千円	41,144	41,276	42,397	42,034	46,176
人件費	千円	21,936	21,772	12,513	15,016	19,187	
正職員	千円	13,996	13,999	12,513	15,016	19,187	
	人員	人	1.7	1.7	1.5	1.8	2.3
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	7,940	7,773	0	0	0	
経費	千円	8,076	8,076	8,076	8,076	8,076	
減価償却費	千円	8,076	8,076	8,076	8,076	8,076	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来園者10人あたり	千円	8.87	9.81	6.61	9.97	7.68

フルコストの増減理由

会計年度任用職員経費減により人件費は減少したが、3年毎の大高木剪定委託の実施により委託料が増加した。

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310700 - 013 公園・公衆便所	
担当所属	みどり公園課	担当者 -
連絡先	3579-2531	
関連所属	南部土木サービスセンター 北部土木サービスセンター	

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱			
計画事業番号	023	事業期間	~
施設種別	土木関連施設		

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園等利用者</p> <p>【手段】 公園・公衆トイレ（228箇所）の清掃と破損箇所等の修理、更新</p> <p>【意図】 誰もが快適かつ利用しやすいトイレを目指し、清掃・修繕を遅延なく行うとともに、利用者が施設を快適かつ安全に利用できるような改修を行う。</p> <p>【成果】 全公園・公衆便所の定期的な清掃・修繕を行うとともに、ユニバーサルデザイン化したトイレに改修する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 バリアフリー法により誰もが利用しやすい、ユニバーサルデザイン化されたトイレの設置が義務付けられている。（法第8条第1項、第2項）</p> <p>【区民からの意見】 公園・公衆トイレは、汚れ・いたずらによる使用不能等、日々様々な意見や要望がある。また、和式トイレから洋式化への改修について、区議会に対し陳情が提出、議会採択され執行機関送付を受けている。</p> <p>【他自治体との比較】 豊島区では、公民連携重点プロジェクトとして、「としまトイレプロジェクト」を展開している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	公園公衆便所清掃委託	回	57,478.0	62,068.0	—	62,241.0	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	公園・公衆便所維持補修工事	件	30.0	17.0	—	18.0	—	⇒	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	公園・公衆トイレの改修	箇所	8.0	5.0	10.0	11.0	110.0	12.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	公園・公衆トイレの改築	箇所	16.0	19.0	24.0	22.0	91.7	27.0	30.0
		達成率(%)	53.3	63.3	80.0	73.3	—	90.0	令和7年度
⑤		達成率(%)							

特記事項

④の箇所数は累計値。(R7目標値はH27策定の公園・公衆トイレの適正配置・改修計画による) ※R6修正

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
フルコスト	千円	214,918	243,484	338,865	295,826	422,475	
事業費	千円	195,933	224,716	319,891	276,852	395,091	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	27,500	58,237	60,000	43,271	60,000	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	168,433	166,479	259,891	233,581	335,091	
人件費	千円	16,466	16,470	16,684	16,684	25,094	
正職員	千円	16,466	16,470	16,684	16,684	22,523	
人員	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.7	
再任用等	千円	0	0	0	0	2,571	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	2,519	2,298	2,290	2,290	2,290	
減価償却費	千円	2,519	2,298	2,290	2,290	2,290	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	箇所数あたりの単価	千円	926.37	1,058.63	1,473.33	1,286.20	1,852.96

フルコストの増減理由

物価高騰による工事請負費の増

事務事業名	310700 - 013 公園・公衆便所
-------	----------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	停滞/工夫して継続
法的制約により高水準の仕様が求められる中、整備促進に対するニーズは年々拡大しつづける。これまでの常識にとらわれることなく、新たな構造や運営を含めた一層の整備促進を図る。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	一部対応済
物価上昇による整備コスト高騰の中、3件の改築整備を実施したものの、1件が不調により令和6年度事業へ計画変更することとなった。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか		全てが90%以上	
2. 成果指標の計画値を満たしたか		-	
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
バリアフリートイレの整備促進で利用者の満足度向上が図られることにより、中間アウトカム「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか		最適化に取り組んでいる	
2. コスト最適化への取組状況			
整備コストが増大するなか、仕様の統一などコスト削減に取り組んでいる。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください		目標値・指標の見直し	
2. 具体的な手段を選択してください		コスト増大/活動・成果指標の向上	
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
整備手法の見直しを含めたコスト削減に努める。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続
世界的な原材料価格高騰のなか、社会的要請の高いトイレのバリアフリー化を計画的に進めるため、整備コストの縮減、入札不調対策に取り組んでいく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310700 - 014 公園遊具				
担当所属	みどりと公園課	担当者	-	連絡先	3579-2531
関連所属	南部土木サービスセンター 北部土木サービスセンター				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	都市公園法・板橋区公園条例				
計画事業番号	024	事業期間	平成28年度 ~	施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園利用者</p> <p>【手段】 「公園遊具長寿命化計画」の推進</p> <p>【意図】 公園遊具の老朽化対策や安全性確保のために必要な修繕・更新など整備を進める。</p> <p>【成果】 遊具の老朽化対策、新しい安全規準に適合した遊具の整備が進み、安心・安全なサービスが提供できる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 「遊具の安全に関する規準」に準拠した整備内容となっている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	公園遊具長寿命化計画の推進 (更新遊具数)	基	156.0	182.0	204.0	210.0	102.9	253.0	309.0
		達成率(%)	50.5	58.9	66.0	68.0		81.9	令和 7年度
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

特記事項

基数は累計値 (H27策定公園遊具長寿命化計画に基づく) ※R6修正

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	67,664	107,448	93,496	89,755	76,972	
事業費	千円	59,019	95,919	83,486	79,745	67,796	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	59,019	95,919	83,486	79,745	67,796	
人件費	千円	8,645	11,529	10,010	10,010	9,176	
正職員	千円	8,645	11,529	10,010	10,010	9,176	
人員	人	1.1	1.4	1.2	1.2	1.1	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	公園 1 か所当り	千円	171.74	272.71	237.90	228.38	196.36

フルコストの増減理由

R4緊急経済対策事業終了に伴う事業量減 (R4 : 更新25基、修繕136か所、塗装120か所) ⇒R5 : 更新28基、修繕68か所、塗装91か所)

事務事業名	310700 - 014	公園遊具
-------	--------------	------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
遊具に対する広場空間、こどもの相対的ニーズを確認しつつ、遊具の複合化を推進し安全性と長寿命化の一層の推進を図る。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応困難
設置当時に比べて遊具の安全領域が拡大していることから省スペース遊具への複合化は一部実施しているものの、公園遊具長寿命化計画に基づく事業手法であることから複合化の推進は困難である。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
予防保全型監理により遊具による事故を未然に防ぐことで公園利用者の安全性向上を図り、中間アウトカム「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
更新コストが増加している中、遊具の比較検討を行いながらコストの縮減に努めた。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	目標値・指標の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト増大／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
公園の立地条件や特性を踏まえた遊具選定を行い利用者の満足度向上を目指す。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／目標値・指標の見直し
遊具の経年劣化状況と利用状況に基づき遊具選定を行うことで、効率的な整備手法を検討していく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310700 - 015 公園灯				
担当所属	みどり公園課	担当者	-	連絡先	3579-2531
関連所属					

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	都市公園法・板橋区公園条例				
計画事業番号	026	事業期間	令和元年度 ~ 令和 6年度	施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区で管理する公園・児童遊園等の公園灯</p> <p>【手段】 老朽化した公園灯を優先しながらLEDに更新する</p> <p>【意図】 LEDの導入による環境問題（省エネ・水銀規制）への対応</p> <p>【成果】 公園灯のLED化</p>	

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度		令和 6年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	公園灯	基	759.0	1,523.0	1,753.0	1,724.0	98.3	1,810.0	1,810.0 令和 6年度
		達成率(%)	41.9	84.1	96.9	95.2		100.0	
② 成果指標	経常的なCO2削減量	t	74.6	205.0	—	52.2	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	—
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

①の基数は累計値。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算	
フルコスト	千円	227,918	463,230	171,213	167,360	75,379	
事業費	千円	191,693	428,643	158,700	154,847	69,540	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	191,693	428,643	158,700	154,847	69,540	
人件費	千円	36,225	34,587	12,513	12,513	5,839	
正職員	千円	36,225	34,587	12,513	12,513	5,839	
人員	人	4.4	4.2	1.5	1.5	0.7	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	公園灯1か所当り	千円	802.53	805.62	744.40	832.64	1,076.84

フルコストの増減理由

緊急経済対策の事業量減 (R4) 764基⇒ (R5) 201基

事務事業名	310700 - 015 公園灯
-------	------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
省エネルギーのみならず、夜間の景観演出など環境課題に合致した機能選択を行いながら夜間照明という本来の目的を視点とした調査・設計を行う。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
演出性の高い電球色を基本としつつ、現地状況に合わせて防犯性を高い昼白色を採用するなど環境課題解決を図りながら省エネルギー化を実施した。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	A
1. 活動指標の計画値を満したか	-		
2. 成果指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
LED化によりCO2排出量の削減と照度分布による適正配置により、中間アウトカム「自然環境・公園に対する満足度向上」に寄与している			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
物価高騰などにより整備コストが増大しているが材料の統一化等によりコスト縮減を図り令和6年度の事業終了を目指す。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト増大/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
物価高が続く中、確実な事務執行を行い令和6年度の確実な事業完了によりLED化100%を目指しランニングコストの縮減を図る。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/目標値・指標の見直し
工事の早期発注及び適正な設計により契約不調対策を図り令和6年度の確実な事業完了を行っていく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業)

事務事業名	310700 - 016 計画改修				
担当所属	みどりと公園課	担当者	-	連絡先	3579-2531
関連所属	施設経営課 スポーツ振興課 防災危機管理課 障がい政策課				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち				
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生				
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出			
根拠法令要綱	都市公園法・板橋区公園条例				
計画事業番号	023.028	事業期間	平成28年度 ~	施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 公園等</p> <p>【手段】 改修整備</p> <p>【意図】 防災機能の充実やバリアフリー化など地域ニーズをくみながら公園の老朽化に対応する。</p> <p>【成果】 地域ニーズを反映した公園が整備される。</p>	<p>【現状の周辺環境】 開園年度及び前回改修年度から40年経過した公園をベースに優先順位を定め、計画的に改修を進める。</p> <p>【区民からの意見】 老朽化した公園施設に対し、改修・補修要望が多く寄せられている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	公園の改修	箇所	7.0	8.0	25.0	10.0	40.0	28.0	31.0
		達成率(%)	22.6	25.8	80.6	32.3		90.3	令和 7年度
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

特記事項

計画数目標値は計画策定時とした。※R6修正

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	25,848	98,974	375,352	331,848	390,227
事業費	千円	21,731	92,386	348,658	305,154	360,196
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	21,731	92,386	348,658	305,154	360,196
人件費	千円	4,117	6,588	26,694	26,694	30,031
正職員	千円	4,117	6,588	26,694	26,694	30,031
人員	人	0.5	0.8	3.2	3.2	3.6
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	公園 1 か所当り	—	98,974	187,676	165,924	195,113.50

フルコストの増減理由

事業量増加によるコスト増
 改修工事 (R3) 0か所→(R4) 1か所→(R5) 2か所
 設計委託 (R3) 0か所→(R4) 2か所→(R5) 4か所

事務事業名	310700 - 016	計画改修
-------	--------------	------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容		
評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続	
地域のニーズが拡大・多様化する中で、その集約の手法も前進させるべく研究を進め、整備後の満足度を高める工夫を行っていく。		
前回の二次評価結果への対応状況		
対応状況	対応済	
ワークショップや住民説明会のほか、公園利用者アンケートや周辺の小学校や保育園へのヒアリングなど幅広く意見を聞きながら公園整備計画をたてることにより、利用者の満足度向上を図った。		

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	C
1. 活動指標の計画値を満したか	-		
2. 成果指標の計画値を満したか	70%未満がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業計画見直しにより目標値の変更を行っている。		
令和5年度は実施計画事業2公園について予定どおり改修を実施した。			
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
緑と環境共生の根幹を成す事業である。 地域ニーズの変化を捉えた公園の改修により、安心・安全で快適な環境整備を推進するとともに、区民の自然にふれあう機会・創出に努め、中間アウトカム「自然環境・公園に対する満足度向上」に貢献している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
子どもの池の新たな水施設への転換整備を進めているため改修コストは増加傾向であるが、整備後はランニングコストの減少が見込まれるためLCC削減は実現できている。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	目標値・指標の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト増大/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
こどもの池跡地の有効活用によるデッドスペース解消や通年利用のできる施設への転換により公園利用者の満足度向上を実現する。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/目標値・指標の見直し
公園の規模や利用者のニーズ把握によりメリハリのある整備手法により公園の魅力度向上を図っていく。	

令和 6年度 事務事業評価表 (令和 5年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	310700 - 017 (仮称) 史跡公園整備経費 (みどりと公園課)	
担当所属	みどりと公園課	担当者 - 連絡先 3579-2531
関連所属	生涯学習課 施設経営課 産業振興課 産業戦略担当課長	

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅲ安心・安全で快適な緑のまち		
基本政策	Ⅲ-1 緑と環境共生		
施策	310700	緑化の推進と自然にふれあう機会の創出	
根拠法令要綱	都市公園法・板橋区立公園条例		
計画事業番号	015	事業期間	平成28年度 ~ 令和11年度
		施設種別	土木関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 (仮称) 史跡公園</p> <p>【手段】 公園の新設</p> <p>【意図】 地域振興・産業振興へとつなげ、まちづくりに貢献することを念頭に置き、国指定史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」を保存・活用する目的で、公園として整備する。</p> <p>【成果】 「板橋の歴史・文化・産業を体感し、多様な人々が憩い、語らう史跡公園」として整備される。</p>	<p>【現状の周辺環境】 10ha未満の公園は区が、それ以上の公園は都が設置・管理している。</p> <p>都市公園法等の改正が平成29年6月15日に施行された。【保育所等の社会福祉施設（通所利用）を占用対象に追加など】</p> <p>【区民からの意見】 老朽化した公園施設に対し、改修・補修要望が多く寄せられている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度			令和 6年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	(仮称) 史跡公園整備	%	—	—	⇒	—	—	—	100.0
		達成率(%)	—	—	—	—		—	令和11年度
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 予算
フルコスト	千円	6,432	11,766	1,505	1,334	0
事業費	千円	4,785	6,825	671	500	0
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	4,785	6,825	671	500	0
人件費	千円	1,647	4,941	834	834	0
正職員	千円	1,647	4,941	834	834	0
人員	人	0.2	0.6	0.1	0.1	0.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	— 千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

事業計画に基づく実績減 (R4: 北側道路擁壁予備設計委託⇒R5: 都市計画図書作成委託)。